

24 精神医療センター第7病棟（医療観察法病棟）
ヒートポンプ型空調設備改修工事
（2期工事）

（工事名称はすべて上記名称に読み替えるものとする）

図面番号	図面名称	
M-	1	機械設備工事特記仕様書（1）
	2	機械設備工事特記仕様書（2）
	3	案内・配置図
	4	空調機器表1（改修後）
	5	空調機器表2（改修後）
	6	空調機器表3（改修後）
	7	空調機器表4（改修後）
	8	空調機器表1（改修前・撤去）
	9	空調機器表2（改修前・撤去）
	10	工事概要、屋内工事工程案
	11	参考工事工程表案
	12	空調配管設備 系統図
	13	1階 空調機器更新図
	14	2階 空調機器更新図
	15	2階 屋外機置場詳細図（改修後、撤去）
	16	空調ダクト設備 系統図
	17	1階 空調機ダクト更新図
	18	1階 自動制御設備更新図（現況）
	19	2階 自動制御設備更新図（現況）
	20	R階 自動制御設備更新図（現況）

図面番号	図面名称	
M-	21	自動制御設備 凡例詳細図（既存）
	22	1階 急性期ユニット 天井伏せ改修図
	23	1階 共用ユニット 天井伏せ改修図
	24	天井内隠ぺい空調機 改修パターン図（1）
	25	天井内隠ぺい空調機 改修パターン図（2）
	26	1階 仮設計画図
	27	2階 仮設計画図
	28	R階 仮設計画図
E-	01-1	電気設備工事特記仕様書
	01-2	電気設備工事特記仕様書（2）
	2	案内・配置図
	3	空調電源設備 工事概要
	4	1階 空調電源設備図（現況）
	5	2階 空調電源設備図（現況）
	6	R階 空調電源設備図（現況）
	7	2、R階 空調電源設備 屋上詳細図（改修後、撤去）
	8	1階 急性期ユニット 天井伏せ改修図
	9	1階 共用ユニット 天井伏せ改修図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部

	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

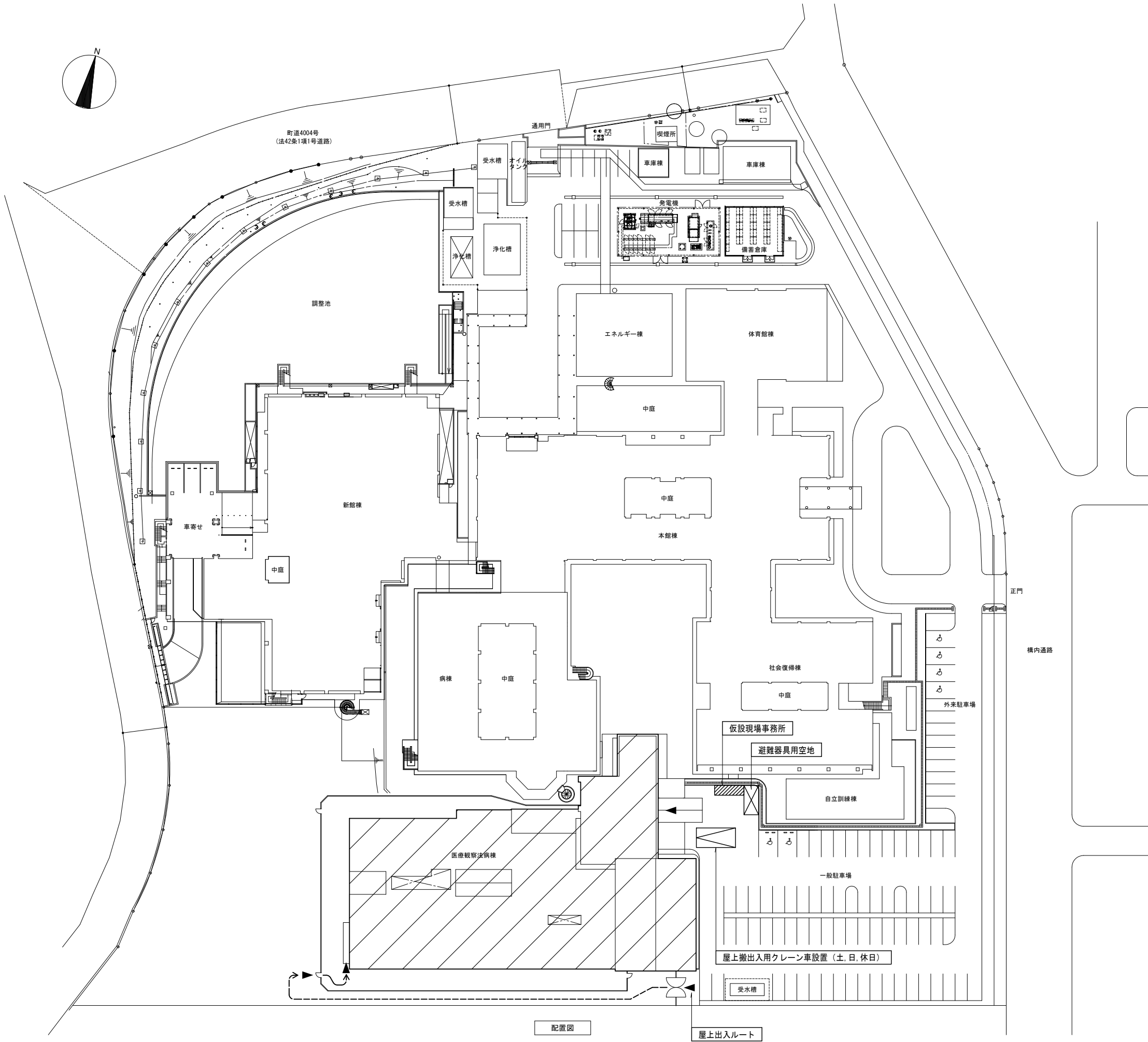
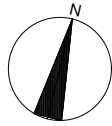
機械設備工事特記仕様書
I 工事概要
1 工事名称 24精神医療センター第7病棟（医療観察法病棟）ヒートポンプ型空調設備改修設備工事（2期工事）
2 工事場所 北足立郡伊奈町小室818-2
3 工期 令和6年12月20日
現場施工期間 令和6年12月20日
4 建物概要
建物名称 構造 階数 延面積(㎡) 消防法施行令別表第一 備考
(1) 第7病棟 RC 2F 2,487.29
5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)
6 指定部分 ※無 ・有 対象部分: 工期: 令和 年 月 日
7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
8 工事範囲 図示のとおり
9 機械設備工事概要 既存パッケージエアコンの更新工事を行う。
10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記工事仕様は適用しない。
11 同時期発注の関連工事 ・建築工事 ○電気設備工事
II 工事仕様
1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を採用する。
2 特記仕様
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と●印の付いた場合は、共に適用する。

章 項目 特記事項
(1) 機材等 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。
(2) 電気保安技術者
(3) 施工条件
4 技能士の適用
(5) 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験
(6) 監督員事務所
(7) 官公署その他への届出手続等
(8) 工事用電力・水等
(9) 工事用仮設物
(10) 足場、さんばし類
(11) 建設発生土の処理
(12) 埋め戻し土・盛土
(13) 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用
(14) 発生材の処理等
(15) 容量等の表示
16 配管
(17) 耐震施工
(18) あと施工アンカー
(注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水槽類に適用する。
※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階
中間階とは下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）
重要機器は次のものを示す。
給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器
防火設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置
火を使用する設備 避難経路上に設置する機器
(19) 機材・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

18 防露保温工事
標準仕様書第2編によるほか下記による。
空気調和設備工事の保温の種別
区分 施工箇所 保温種別
ドレン管 屋内露出(一般居室、廊下) a1・(ハ)・Ⅶ
機械室、書庫、倉庫 b・(ハ)・Ⅶ
天井内、P.S内及び空腔壁中 c2・(ロ)・Ⅶ
浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) e3・(ハ)・Ⅶ
蒸気管 屋内露出(一般居室、廊下) A1・(イ)・Ⅱ
機械室、書庫、倉庫 B・(イ)・Ⅱ
天井内、P.S内及び空腔壁中 C2・(ロ)・Ⅱ
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) D・(ロ)・Ⅱ
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) E3・(イ)・Ⅱ
及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)
冷水・冷温水管 屋内露出(一般居室、廊下) A1・(ハ)・Ⅲ
(膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。) 機械室、書庫、倉庫 B・(ハ)・Ⅲ
天井内、P.S内及び空腔壁中 C1・(イ)・Ⅲ
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) D・(ハ)・Ⅲ
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) E3・(ハ)・Ⅲ
及び浴室、厨房内の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)
温水管 屋内露出(一般居室、廊下) A1・(イ)・Ⅰ
機械室、書庫、倉庫 B・(イ)・Ⅰ
天井内、P.S内及び空腔壁中 C2・(ロ)・Ⅰ
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) D・(ロ)・Ⅰ
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) E3・(イ)・Ⅰ
及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)
(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。
屋内露出部 ※保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)
屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング
・保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)
2. 施工種別Bの材料及び施工順序4, 5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
3. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。
ダクトの保温の種別
区分 施工箇所 保温種別
長方形ダクト 屋内露出(一般居室、廊下) J1・(イ)・X1
屋内露出(機械室、書庫、倉庫) I・(イ)・X1
屋内隠べい、DS内 I・(ロ)・X1
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) K3・(イ)・X1
円形ダクト 屋内露出(一般居室、廊下) O1・(イ)・X1
屋内露出(機械室、書庫、倉庫) N・(イ)・X1
屋内隠べい、DS内 N・(ロ)・X1
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) P3・(イ)・X1
及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)
消音内貼り サブライチャンパー M・(ロ)・IX
消音チャンパー・消音エルボ L・(ロ)・Ⅷ
給排水衛生設備工事の保温の種別
区分 施工箇所 保温種別
給水管 屋内露出(一般居室、廊下) a1・(ハ)・Ⅶ
機械室、書庫、倉庫 b・(ハ)・Ⅶ
天井内、P.S内及び空腔壁中 c2・(ロ)・Ⅶ
食堂住宅P.S内 e3・(ハ)・Ⅶ
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) e3・(ハ)・Ⅶ
排水及び通気管 屋内露出(一般居室、廊下)
機械室、書庫、倉庫
天井内 c2・(ロ)・Ⅶ
P.S及び空腔壁中
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) e3・(ハ)・Ⅶ
給湯管 屋内露出(一般居室、廊下) a1・(イ)・Ⅰ
(膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。) 機械室、書庫、倉庫 b・(イ)・Ⅰ
天井内、P.S内及び空腔壁中 c2・(ロ)・Ⅰ
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房内の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) e3・(イ)・Ⅰ
(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかき部は塗装を施す。
2. 排水管の管種が耐火Ⅱ層管、耐火Ⅲ層の場合は、保温を要しない。
3. 施工種別bの材料及び施工順序3, 4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
4. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。
5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ) ・Ⅶとする。
6. 便所内露出U.S管及び流し内露出U.S管は保温を要しない。
7. 空調設備を要する便所(特別支援学校等)以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所による保温を要しない。
※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放射量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。
※屋外露出給水管(呼び径20以下のみ)は、保温厚40mmの防露保温を行うこと。
・図示の屋外露出部(給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。)は下記仕様により防露保温を行う。
※保温仕様は保温厚さを40mmとする。
・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。
下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。
※機械室、書庫、倉庫
下記の金属電線管は塗装を行う。
※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出(※見えかき部)
特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

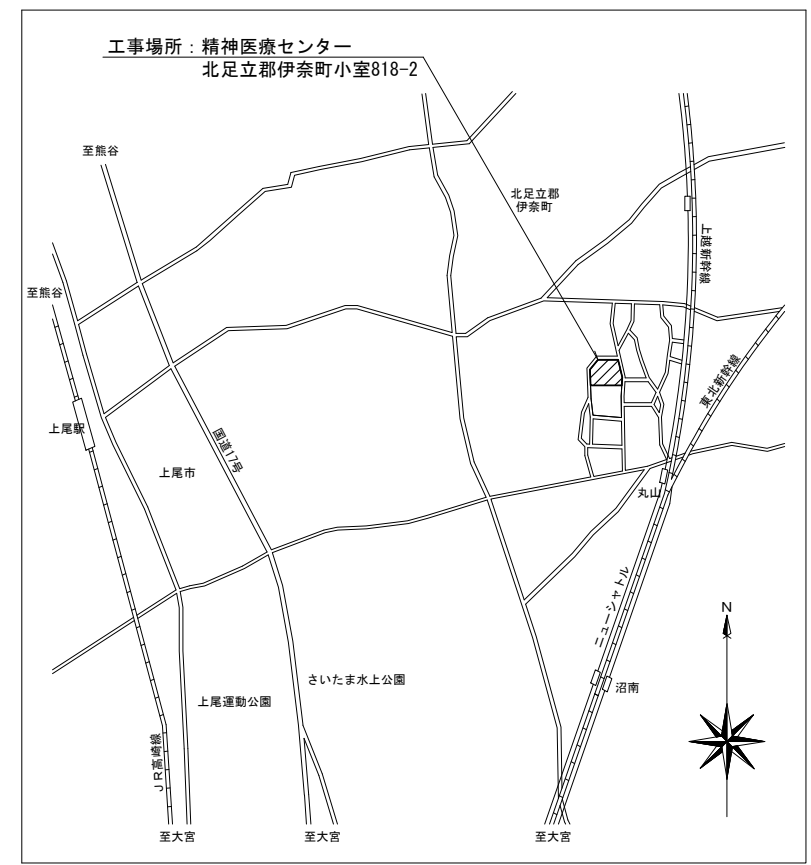
(22) はつり及びびあと施工アンカー打設
23 管の埋設深さ
(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。
(2) 構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。
(3) その他の場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで300mmとする。
(24) 既設管分岐・接続
既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。
やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
25 絶縁継手の設置・種別
※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管
※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分
※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ
() 書きの室名は直天井を示し、その他二重天井を示す。
27 他工事との取合区分
スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。
(28) 施工図等の取扱い
施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に帰属するものとする。
(29) 保険
受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。
(30) 配管識別
配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
(31) 塗落制止用器具(フルハーネス型)
※使用を要する 塗落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)による
・使用を要しない
32 誘導電動機
三相誘導電動機はJIS C 4 2 1 3 (IE3) トップランナーモーターとする。
(33) 完成図書の電子納品
完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する ・適用しない
完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。
また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。
県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。
(34) その他
工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
1 共通事項
改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。
2 改修部分の足場
本工事で単独に必要な足場は、下記より設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・枠組足場
(2) 外部足場 ※A種(枠組足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び軽木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
3 既存部分養生・既存家具等養生
(1) 関係受注業者と共用部分
※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。
○本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
(2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。
※ビニールシート ・合板
4 備品等の移動
○別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事
5 仮設間仕切り
(1) 関係請負業者と共用部分
※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。
・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
(2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。
※A種 単管下地全面シート張り
6 撤去後機材の扱い
(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。
(2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。
それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。
7 支持金物の再使用
(1) インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品
(2) 鉄鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品
8 あと施工アンカーの種類
金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
9 フロン回収
冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。
※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し
「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。
10 総合調整
○全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整
11 既設基礎類の解体はつり
建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。
現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。
粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。
12 アスベスト事前調査結果の報告
全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてて報告すること。
(13) その他
(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。
(2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
2024.4

●空気調和設備	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>⑩ 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R 4 1 0 A , R 3 2 又は R 4 0 7 C) (注1) R 4 1 0 A を採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2 を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 振音装置</p> <p>・女子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・別途工事） ・男子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・別途工事） ・バリアフリートイレブースに設置する。（※本工事 ・別途工事） 衛生設備器具の適用等に必要なことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>2 洗面器等の排水管</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手</p> <p>3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用</p> <p>別紙樹表による。</p>																																																																											
		<p>(3) 空気調和設備</p> <p>① 設計温度</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏期</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。 ※空調機器表 1 ~ 4 (改修後)に記載のとおり。</p> <p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ○する ※しない</p> <p>室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ○する ※しない</p> <p>3 煙道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>4 煙突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・換気用耐火2層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V, 0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>⑪ 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) (5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (LXD/ACD/レナパ'相当品) ・耐火2層管 V P (F D P S - 1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P (消防協議事項：ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・</p> <p>規格は J I S 又は J V とし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>12 弁類</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各還り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>14 圧力計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各還り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>		外 気				屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	冬期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	<p>○給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・耐火2層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V, 0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画貫通箇所は換気用耐火2層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠へ部ダクト 仕様はN ・ (ロ) ・X I とする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽へ部ダクト (仕様はh ・ (イ) ・IX とし範囲は図示による)</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>	<p>○排水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>※排水ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・耐火2層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V, 0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画貫通箇所は換気用耐火2層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠へ部ダクト 仕様はN ・ (ロ) ・X I とする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽へ部ダクト (仕様はh ・ (イ) ・IX とし範囲は図示による)</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>	<p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・ガブ'以 ※協管) 便所・廊下通し露出配管 (※協管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JVB-1Iによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、該接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※観メーター (※賞与品 ・) ・子メーター (※買取り ・)</p> <p>5 量水器樹</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格は J I S 又は J V とし、水道直結部分は10 Kとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱 (1200 L) ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部 (水道直結部分)	・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部 (一般部分)	・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	<p>○ガス設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP (白) 地中埋設 ※PE管</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p>
	外 気				屋 内																																																																										
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																							
夏期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																							
冬期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																							
施 工 箇 所	管 種 別																																																																														
地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管																																																																														
ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																														
保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																														
地中埋設部 (水道直結部分)	・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																														
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																														
県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																																														
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																														
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																														
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																														
その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																														
地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																														
湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																														
保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																														
地中埋設部 (一般部分)	・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																														
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																														
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																														
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																														
その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																														
<p>設計年月日</p> <p>地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部</p>	<p>本部長</p> <p>管理幹</p> <p>主 幹</p> <p>主 査</p> <p>担 当</p> <p>縮 尺</p> <p>工 事 名 称</p> <p>24 精神医療センター第7病棟 (医療観察病棟)</p> <p>ヒートポンプ型空調設備改修設備工事 (2期工事)</p>	<p>図 面 名</p> <p>機械設備工事特記仕様書 (2)</p>	<p>図面番号</p> <p>M - 0 2</p>																																																																												

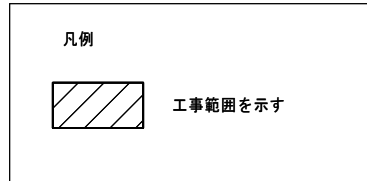


配置図

屋上出入ルート



案内図



*作業員用駐車場は、打合わせによる

摘要 概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 栗木 大谷 設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟（医療観察法病棟） ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事（2期工事） 図面名 案内・配置図	図面番号 M - 03 縮尺 A 1 1 : 400 A 3 1 : 800
----------	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--	---	--

空調機器表 1 (改修後)

図面記号	名称	系統	仕様	相	電圧 (V)	消費電力 (kW)	台数	1期工事	2期工事	3期工事	設置階	設置室名	参考寸法	重量	備考、参考機種
EHP-1	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F管理	高効率型 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房12.9 暖房12.4	1			○	3	屋上	1870x740x1650H	370	既存基礎利用 PUHY-RP450DMG9-E
EHP-1-1	ビルマルチ パッケージ室内機	エントランスルーム	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1			○	1	エントランスルーム			
EHP-1-2	ビルマルチ パッケージ室内機	面会室1,2	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 85Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	2			○	1	面会室1,2			
EHP-1-3	ビルマルチ パッケージ室内機	守衛室	天吊り隠蔽カセット型二方向吹 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1			○	1	守衛室			
EHP-1-4	ビルマルチ パッケージ室内機	スタッフルーム	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	2			○	1	スタッフルーム			
EHP-1-5	ビルマルチ パッケージ室内機	業務管理室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.04	1			○	1	業務管理室			
EHP-1-6	ビルマルチ パッケージ室内機	仮眠室1,2	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	2			○	1	仮眠室1,2			
EHP-1-7	ビルマルチ パッケージ室内機	更衣室1,2	天吊り隠蔽カセット型二方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	2			○	1	更衣室1,2			
EHP-1-8	ビルマルチ パッケージ室内機	カフェラリス室1	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	2			○	1	カフェラリス室1			
EHP-1-9	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 風量 840m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1			○	1	廊下			
EHP-2	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F共用ユニット	高効率型 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房9.30 暖房8.84	1		○		2	屋上	920x740x1650H	197	既存基礎利用 PUHY-RP280DMG9
EHP-2-1	ビルマルチ パッケージ室内機	心理面接室	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	1		○		1	心理検査室			
EHP-2-2	ビルマルチ パッケージ室内機	理・美容室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○		1	理・美容室			
EHP-2-3	ビルマルチ パッケージ室内機	談話室兼食堂	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 風量 1,020m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1		○		1	談話室兼食堂			
EHP-2-4	ビルマルチ パッケージ室内機	個室D1~D5	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	5		○		1	廊下			
EHP-2-5	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	1		○		1	倉庫2、汚物処理室			
EHP-2-6	ビルマルチ パッケージ室内機	乾燥M	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○		1	乾燥M			
EHP-2-7	ビルマルチ パッケージ室内機	乾燥W	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○		1	乾燥W			
EHP-2-8	ビルマルチ パッケージ室内機	脱衣室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○		1	脱衣室			

温度条件 室内 夏 DB26°C WB19°C 冬 DB20°C 室外 夏 DB34.3°C 冬 DB7°C WB6°C
冷媒管、ドレン管、制御配線、リモコン配線、室内機電源配線は、取外し、再接続とする。
室内機には、全て防振ハンガー取付

2期工事を対象とする。以下同じ。

摘要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤	大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	設計図 図面名 空調機器表1(改修後)	縮尺 A1 1:NON A3 1:NON	図面番号 M-04
----	---------------------	-------	----------	----------	----------	----	---	--	---------------------------	----------------------------	--------------

空調機器表2 (改修後)

図面記号	名称	系統	仕様	相電圧(V)	消費電力(kW)	台数	1期工事	2期工事	3期工事	設置階	設置室名	参考寸法	重量	備考、参考機種
EHP-3	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F急性期ユニット	高効率型 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房12.9 暖房12.4	1		○	2	屋上	1870x740x1650H	370	既存基礎利用 PUHY-RP450DMG9-E
EHP-3-1	ビルマルチ パッケージ室内機	相談室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	1		○	1	相談室			
EHP-3-2	ビルマルチ パッケージ室内機	診察室1,2	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW 風量 630m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.13	2		○	1	診察室1,2			
EHP-3-3	ビルマルチ パッケージ室内機	内省室和室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	1		○	1	内省室和室			
EHP-3-4	ビルマルチ パッケージ室内機	談話室兼食堂	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 風量 1,140m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.24	1		○	1	談話室兼食堂			
EHP-3-5	ビルマルチ パッケージ室内機	談話室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	談話室			
EHP-3-6	ビルマルチ パッケージ室内機	保護室1,2	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	2		○	1	廊下			
EHP-3-7	ビルマルチ パッケージ室内機	個室A1~A4	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	4		○	1	廊下			
EHP-3-8	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 風量 840m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1		○	1	廊下			
EHP-3-9	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW 風量 630m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.13	1		○	1	廊下			
EHP-3-10	ビルマルチ パッケージ室内機	乾燥	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	乾燥			
EHP-3-11	ビルマルチ パッケージ室内機	脱衣室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	脱衣室			

温度条件 室内 夏 DB26℃ WB19℃ 冬 DB20℃ 室外 夏 DB34.3℃ 冬 DB7℃ WB6℃
冷媒管、ドレン管、制御配線、リモコン配線、室内機電源配線は、取外し、再接続とする。
室内機には、全て防振ハンガー取付

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	設計図 図面名 空調機器表2(改修後)	縮尺 A1 1:NON A3 1:NON	図面番号 M - 05
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--	--	---------------------------	----------------------------	----------------

空調機器表3 (改修後)

図面記号	名称	系統	仕様	相電圧(V)	消費電力(kW)	台数	1期工事	2期工事	3期工事	設置階	設置室名	参考寸法	重量	備考、参考機種
EHP-4	更新用ヒールマルチパッケージ 室外機	1F社会復帰ユニット	高効率型 冷房能力 40.0kW 暖房能力 45.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房13.4 暖房12.5	1	○		2	屋上	1220x740x1650H	247	既存基礎利用 PUHY-RP400DMG9-E
EHP-4-1	ヒールマルチパッケージ 室内機	談話室兼食堂	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 風量 1,020m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1	○		1	談話室兼食堂			
EHP-4-2	ヒールマルチパッケージ 室内機	談話室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW 風量 630m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.13	1	○		1	談話室			
EHP-4-3	ヒールマルチパッケージ 室内機	個室C1~C7	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	7	○		1	廊下			
EHP-4-4	ヒールマルチパッケージ 室内機	個室C8	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	1	○		1	廊下			
EHP-4-5	ヒールマルチパッケージ 室内機	退院訓練室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1	○		1	退院訓練室			
EHP-4-6	ヒールマルチパッケージ 室内機	廊下	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 風量 840m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1	○		1	廊下			
EHP-5	更新用ヒールマルチパッケージ 室外機	1F回復期ユニット	高効率型 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房12.9 暖房12.4	1	○		2	屋上	1870x740x1650H	370	既存基礎利用 PUHY-RP450DMG9-E
EHP-5-1	ヒールマルチパッケージ 室内機	談話室兼食堂	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 9.0kW 暖房能力 10.0kW 風量 1,320m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.29	1	○		1	談話室兼食堂			
EHP-5-2	ヒールマルチパッケージ 室内機	談話室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW 風量 630m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.13	1	○		1	談話室			
EHP-5-3	ヒールマルチパッケージ 室内機	個室B1~B13, 静養室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	14	○		1	廊下			
EHP-5-4	ヒールマルチパッケージ 室内機	廊下	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 風量 840m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1	○		1	廊下			
EHP-5-5	ヒールマルチパッケージ 室内機	脱衣室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1	○		1	脱衣室			

温度条件 室内 夏 DB26℃ WB19℃ 冬 DB20℃ 室外 夏 DB34.3℃ 冬 DB7℃ WB6℃
冷媒管、ドレン管、制御配線、リモコン配線、室内機電源配線は、取外し、再接続とする。
室内機には、全て防振ハンガー取付

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	設計図 図面名 空調機器表3(改修後)	縮尺 A1 1:NON A3 1:NON	図面番号 M-06
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	---	--	---------------------------	----------------------------	--------------

空調機器表 4 (改修後)

図面記号	名称	系統	仕様	相電圧(V)	消費電力(kW)	台数	1期工事	2期工事	3期工事	設置階	設置室名	参考寸法	重量	備考、参考機種
EHP-6	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1Fスタッフステーション	高効率型 冷房能力 22.4kW 暖房能力 25.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	1	○			2	屋上	920x740x1650H	185	既存基礎利用 PUHY-RP224DMG9
EHP-6-1	ビルマルチ パッケージ室内機	スタッフステーション1	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	2	○			1	スタッフステーション1			
EHP-6-2	ビルマルチ パッケージ室内機	スタッフステーション2	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	2	○			1	スタッフステーション2			
EHP-7	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1Fアトリウム	高効率型 冷房能力 22.4kW 暖房能力 25.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	1	○			2	屋上	920x740x1650H	185	既存基礎利用 PUHY-RP224DMG9
EHP-7-1	ビルマルチ パッケージ室内機	アトリウム	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 11.2kW 暖房能力 12.5kW 風量 1.980m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	2	○			1	アトリウム			
EHP-8	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	2F諸室	高効率型 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	1			○	3	屋上	920x740x1650H	197	既存基礎利用 PUHY-RP280DMG9
EHP-8-1	ビルマルチ パッケージ室内機	集団精神療法室1.2	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	2			○	2	集団精神療法室1.2			
EHP-8-2	ビルマルチ パッケージ室内機	防音活動室	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 風量 1.020m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	1			○	2	倉庫7			
EHP-8-3	ビルマルチ パッケージ室内機	作業療法室	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	2			○	2	作業療法室			
EHP-8-4	ビルマルチ パッケージ室内機	情報管理室	天吊り隠蔽カセット型二方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	1			○	2	情報管理室			
EHP-9	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F屋内運動場	高効率型 冷房能力 56.0kW 暖房能力 63.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	1			○	2	屋上	1750x765x1660H	348	既存基礎利用 RQYP560FC
EHP-9-1	ビルマルチ パッケージ室内機	屋内運動場	壁ビルトイン下吹出型 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW 風量 4.800m3/h 機外静圧 100Pa ロングライフフィルター付、防振架台、個別リモコンとも	1	200	2			○	1	屋内運動場	1515x500x2000H	223	既存基礎利用 リモコンスイッチ本体側面取付 既存全熱交換器集中リモコン接続済
OEHP-1	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F管理、2F外気処理	高効率型 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	1			○	3	屋上	1870x740x1650H	370	既存基礎利用 PUHY-RP450DMG9-E
OEHP-1-1	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 22.4kW 暖房能力 21.2kW 風量 1.680m3/h 機外静圧 200Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター	3	200	1			○	1	業務管理室			
OEHP-1-2	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター	1	200	1			○	2	廊下			
OEHP-2	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F急性期、共用外気処理	高効率型 冷房能力 50.0kW 暖房能力 56.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	1			○	2	屋上	1870x740x1650H	382	既存基礎利用 PUHY-RP500DMG9
OEHP-2-1	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	1			○	1	廊下			
OEHP-2-2	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下(共用ユニット)	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	1			○	1	廊下			
OEHP-2-3	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下(急性期ユニット)	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 22.4kW 暖房能力 21.2kW 風量 1.680m3/h 機外静圧 200Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	1			○	1	倉庫3			
OEHP-3	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F回復期、社会復帰外気処理	高効率型 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	1	○			2	屋上	920x740x1650H	197	既存基礎利用 PUHY-RP280DMG9
OEHP-3-1	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下(回復期ユニット)	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	1	○			1	廊下			
OEHP-3-2	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下(社会復帰ユニット)	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	1	○			1	廊下			
RS	個別リモコン		ビルマルチ用					34ヶ	33ヶ	19ヶ	1・2			各室
RSC	集中コントローラー		10.4インチカラータッチパネル、最大50台接続	1	100/200	2	○			1	スタッフステーション1	284x65x200H		既存自立制御盤開口寸法拡大改修

温度条件 室内 夏 DB26℃ WB19℃ 冬 DB20℃ 室外 夏 DB34.3℃ 冬 DB7℃ WB6℃
冷媒管、ドレン管、制御配線、リモコン配線、室内機電源配線は、取外し、再接続とする。
室内機には、全て防振ハンガー取付

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社	クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	設計図 図面名 空調機器表4(改修後)	図面番号 M - 07 縮尺 A 1:1 : NON A 3:1 : NON
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	----------	--	--	---------------------------	---

空調機器表2 (改修前・撤去)

記号	系統名	形式	能力			室内機										室外機							備考								
			冷房 kW	暖房 kW	有効 加湿量 L/h	送風機		電源動力					台数	設置場所	1期 工事	2期 工事	3期 工事	圧縮機 出力 kW	消費電力量		電源			台数	設置場所						
						風量 m3/h	機外静圧 Pa	送風機 kW	加湿器 kW	相 φ	電圧 V	起動 方式							メーカー 標準品	冷房kW	暖房kW	送風機 kW				相 φ	電圧 V				
																												風量	機外静圧	送風機	加湿器
EHP-8	2F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	28.0	31.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6.8+0.035	8.16	8.22	0.46	3	200	1	3F 室外機置場	PUHY-P280CM-E3 (三菱電機)	920×760×1,650H	185kg			
EHP-8-1	集団精神療法室1,2	カセット形(4方向吹出)	5.6	6.3	-	960	-	0.05	-	1	200	直入	○	2	2F 集団精神療法室1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PLFY-P56BM-E3 (三菱電機)		
EHP-8-2	防音活動室	天井埋込ダクト形	5.6	6.3	0.5	840	100	0.08	0.003	1	200	直入	○	1	2F 倉庫7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PLFY-P56M-E1 (三菱電機)		
EHP-8-3	作業療法室	カセット形(4方向吹出)	4.5	5.0	-	960	-	0.05	-	1	200	直入	○	2	2F 作業療法室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PLFY-P45BM-E3 (三菱電機)		
EHP-8-4	情報管理室	カセット形(2方向吹出)	2.2	2.5	-	570	-	0.015	-	1	200	直入	○	1	2F 情報管理室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PLFY-P22LM-E2 (三菱電機)		
EHP-9	1F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	56.0	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	7.2+4.2	15.40	16.70	0.75×2	3	200	1	2F 室外機置場	RXYP-560B (ダイキン)	1,880×765×1,680H	386kg			
EHP-9-1	屋内運動場	壁ビルトイン形(下吹出)	28.0	31.5	-	4,800	100	0.38×2	-	1	200	直入	○	2	1F 機械室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	FXYWUP-280M (ダイキン)	1,575×500×2,000H	135kg
OEHP-1	1,2F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	45.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	2.7+4.5 +4.5	13.60	13.50	0.35×2	3	200	1	3F 室外機置場	PUHY-P450CM-E3 (三菱電機)	1,750×760×1,650H	285kg			
OEHP-1-1	廊下	外気処理天埋ダクト形	22.4	21.2	-	1680	200	0.20	-	3	200	直入	○	1	1F 業務管理室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P224M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-1-2	廊下	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	2F 廊下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P140M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-2	1F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	50.0	56.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	12.2+0.045	16.18	14.58	0.46×2	3	200	1	2F 室外機置場	PUHY-P500CM-E3 (三菱電機)	1,750×760×1,650H	285kg			
OEHP-2-1	廊下	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	1F 廊下	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P140M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-2-2	廊下(共用ユニット)	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	1F 廊下	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P224M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-2-3	廊下(急性期ユニット)	外気処理天埋ダクト形	22.4	21.2	-	1,680	200	0.20	-	3	200	直入	○	1	1F 倉庫3	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
OEHP-3	1F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	28.0	31.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6.8+0.035	8.16	8.22	0.46	3	200	1	2F 室外機置場	PUHY-P280CM-E3 (三菱電機)	920×760×1,650H	185kg			
OEHP-3-1	廊下(回復期ユニット)	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	1F 談話室兼食堂	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P140M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-3-2	廊下(社会復帰ユニット)	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	1F 廊下	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P140M-E1-F (三菱電機)		
RS		個別リモコン																												PAR-31MA (三菱電機)	
RSC		集中コントローラ (ON・OFF、スケジュール運転、温度設定)												2			○													G-150AD (三菱電機)	

I期毎に、冷媒ガスは、ポンプダウン、室内機及び室外機は、撤去処分とする。

工事概要

- 第7病棟のマルチタイプ空冷ヒートポンプパッケージの更新を居ながら工事で行う。
- 添付の全体工程表案及び屋内工事工程案をベースに工程表を検討、作成する。
準備工事も含めて、工事はユニット単位で行う。
- 原則屋内工事は、平日の昼間作業とするが、工程上の都合で土日作業等
行わなければならない場合は、監督員と協議する。
- 屋上の作業は、土日の昼間作業も可能とする。
- 屋内作業においては、警備員(軽作業員)を、屋内工事工程案に基づき配置する。
- 病棟内への機材、工具等の持ち込みは、玄関風除室にて、施設側係員に内容、数量を申請する。
退出時には、それらの数量等を係員が確認する。
- スタッフステーション2を工事用資材庫として利用、資機材を置いておくことができる。
- ユニット内の工事期間中は、スタッフステーション2の出入口に警備員(軽作業員)を配置し
スタッフステーション2の出入り時に、上記同様の確認を、施工者側で行う。
- 作業場所には、ブラコーン等でその周囲を囲い、作業班ごとに警備員(軽作業員)を配置し、
入居者、職員等の通行に支障がでる場合は、一時的に工事を中断し、ブラコーン等を移動させ
安全に通行ができる様に、警備員等が誘導する。
- 作業時には、施設側でセキュリティナースを配置、巡回し、入居者との対応を行う。
- 天井内作業がほとんどであり、上下作業にならない様に安全に注意すること。
- 病棟内での携帯電話の通信は不可、必要であれば内線連絡用のPHSを貸与する。
- セキュリティに配慮し、病棟への出入口は、正面玄関1か所に限定する。
屋上への出入りは、屋外出入口より、屋外階段を利用する。

施 工

- 屋外機、屋内機、キャンパス継ぎ手、リモコンスイッチ、集中コントローラーを撤去、更新する
冷媒管、ドレン管、制御配線等は、既存再利用とする。
- 屋内機EHP-1-2ほか天井隠蔽ダクトタイプ(22, 28, 36型)は、機種形状変更により
配管及び電源接続口が左右逆になり、
冷媒管、ドレン管、電源ケーブル、制御ケーブル、リモコンケーブルの延長が必要になる。
- 上記機種は、フィルター引き抜き方向が下抜きから横抜きに変わるため
各種改修工事が発生することが想定され、準備工事にて、それらの内容確認を行う。
- 天吊り隠蔽ダクトタイプの更新は、別紙天井改修範囲図を参考に、
更新に必要な範囲の天井、下地材とも撤去、更新とする。
天吊りカセット型の場合は、必要に応じて、最低限の天井改修を行う。
- 天井材撤去後は、作業終了時、毎回養生用ブラベニアで開口部の仮復旧を行い、
非作業日時(夜間、休日等)に天井開口したままにしておかないようにする。
- 天井撤去時、その範囲内にある照明器具、弱電機器、スプリンクラーヘッド等は、
仮止めを行い、機能的に支障の無い様に対処する。
天井復旧時には、その照明器具、弱電機器等は、所定の位置に再取り付けとする。
- 天井内作業をする部分は、作業前にビニールシートで床養生を行い
撤収時には、床養生を毎回撤去することとする。
なお、機材搬入時は屋内用台車を利用し、床養生は不要とする。
- 屋内機は、原則として振れ止めを施し、そこより防振ハンガーにて吊る。
- 火災事故防止のため、屋内での溶接作業は、禁止とする。
- 屋内機、屋外機更新後、冷媒管の気密試験を24時間以上行い、漏洩の無い事を確認すること。

精神医療センター第7病棟空調設備改修工事 屋内工事工程案

2期工事 秋口の中間期限定(平日)

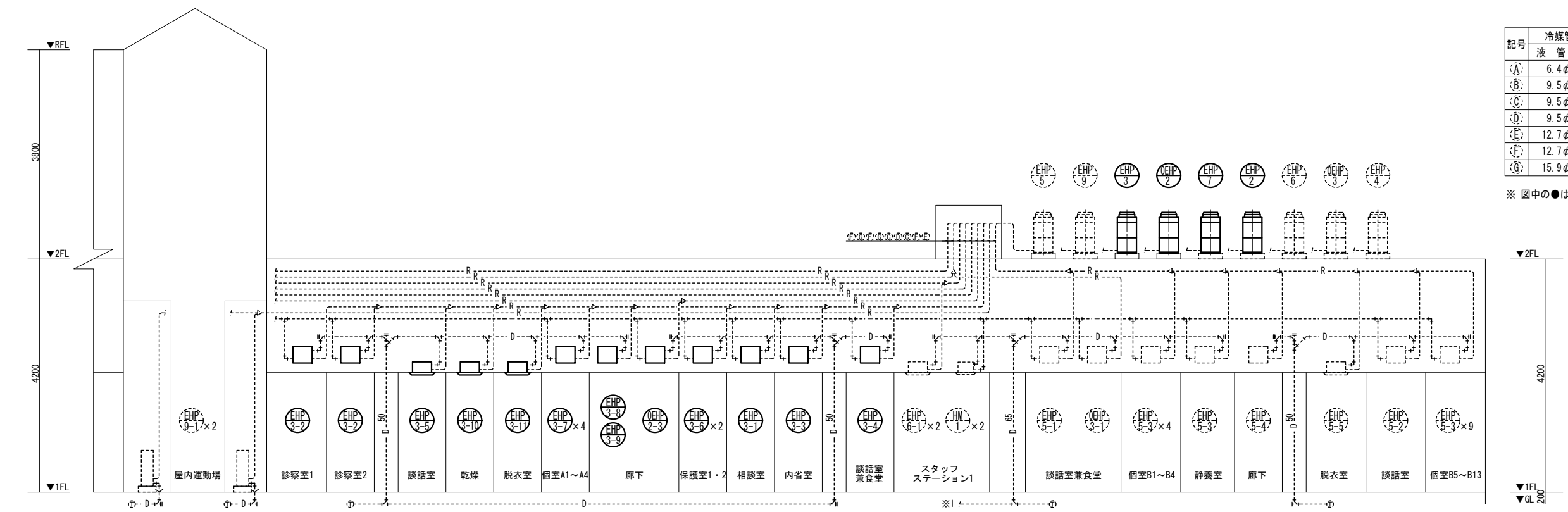
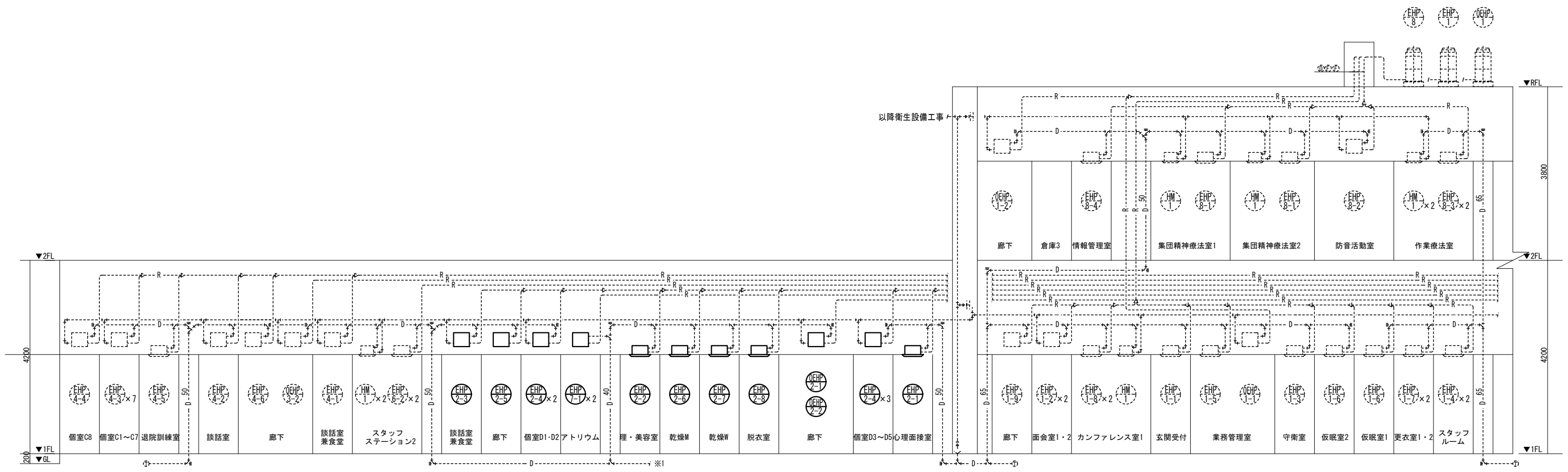
準備工事	(空調止めずに作業可能)	仮設天井材	床養生	監視員(軽作業員)	作業場所	スタッフステーション2	
日							
9	天井開口、照明器具等仮固定、障害物調査、採寸(3日x3ユニット)	貼り			9	9	
1	屋内機スタッフステーション2搬入					1	
10					9	10	
2期-1 急性期ユニット(EHP-3)(OEHP-2)							
日		仮設天井材	床養生	監視員(軽作業員)	作業場所	スタッフステーション2	
3	屋内機更新 3班 17台/3班/2台・班=2.8日	撤去、再取付	部分布設、撤去		9	3	
2	冷媒管、ドレン管切り廻し	撤去、再取付	部分布設、撤去		2	2	
1	冷媒管圧力検査(24H)				1	1	
1	試運転調整				1	1	
2	天井材下地とも復旧、照明器具・弱電器具再取付	撤去	部分布設、撤去		2	2	
1	清掃				1	1	
10					16	10	
2期-2 共用ユニット(EHP-2)(OEHP-2)							
日		仮設天井材	床養生	監視員(軽作業員)	作業場所	スタッフステーション2	
3	屋内機更新 3班 14台/2班/3台・班=2.3日	撤去、再取付	部分布設、撤去		9	3	
2	冷媒管、ドレン管切り廻し	撤去、再取付	部分布設、撤去		2	2	
1	冷媒管圧力検査(24H)				1	1	
1	試運転調整				1	1	
2	天井材下地とも復旧、照明器具・弱電器具再取付	撤去	部分布設、撤去		2	2	
1	清掃				1	1	
10					16	10	
2期-3 アトリウム(EHP-7)							
日		仮設天井材	床養生	監視員(軽作業員)	作業場所	スタッフステーション2	
1	屋内機更新 1班 2台/1班/2台・班=1.0日	撤去、再取付	部分布設、撤去		1	1	
1	冷媒管圧力検査(24H)				1	1	
1	試運転調整				1	1	
1	天井材下地とも復旧、照明器具・弱電器具再取付	撤去	部分布設、撤去		1	1	
1	清掃				1	1	
5					5	5	
					計	46	35
					合計		81

概要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	設計図	図面番号 M - 10
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷		図面名 工事概要、屋内工事工程案	縮尺 A 1 1 : NON A 3 1 : NON	

参 考 工 事 工 程 表 案

工事名 精神医療センター第7病棟空調改修工事(2期工事)

工事内容	2024(令和6)年										2025(令和7)年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
空調停止						—	—	—					
現地調査・仕様書作成・承諾			—	—	—								
機材発注, 空調機器製作			—	—	—	—							
屋内準備工事 天井開口、障害物調査、採寸						—							
屋上工事 屋外機撤去、更新、配管・配線更新						—							
屋内機 スタッフステーション2 搬入						—							
急性期ユニット空調改修							—						
共用ユニット空調改修							—						
アトリウム空調改修								—					
検査									—	—			



記号	冷媒管サイズ		室内外渡り配線 (冷媒管共巻)
	液管	ガス管	
(A)	6.4φ	12.7φ	CVWS1.25 [□] -2C
(B)	9.5φ	15.9φ	CVWS1.25 [□] -2C
(C)	9.5φ	19.1φ	CVWS1.25 [□] -2C
(D)	9.5φ	22.2φ	CVWS1.25 [□] -2C
(E)	12.7φ	25.4φ	CVWS1.25 [□] -2C
(F)	12.7φ	28.6φ	CVWS1.25 [□] -2C
(G)	15.9φ	28.6φ	CVWS1.25 [□] -2C

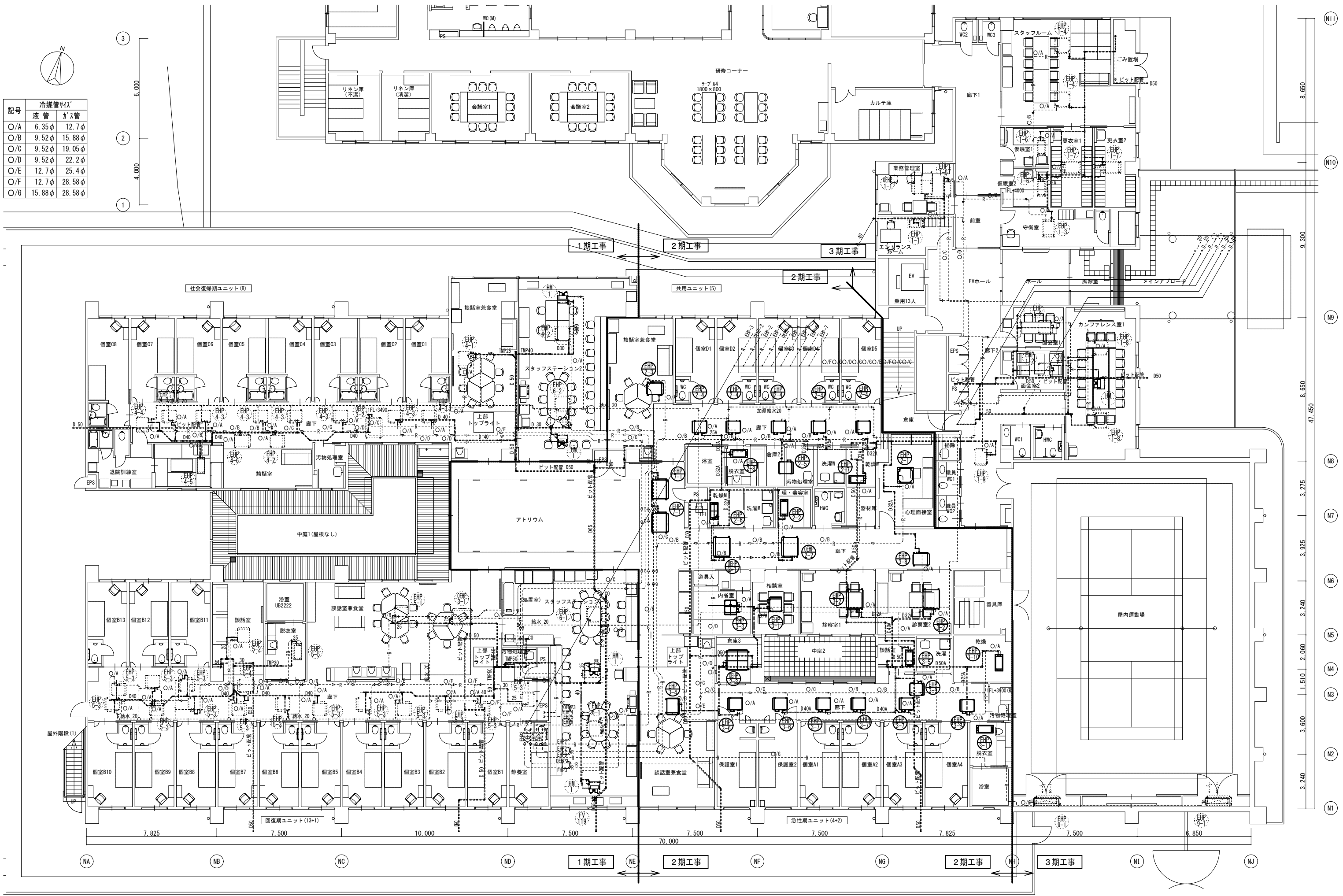
※ 図中の●は防火区画貫通処理を示す。

配管系統図

凡例	
——	: 新設配管・機器を示す
- - - -	: 既存配管・機器を示す



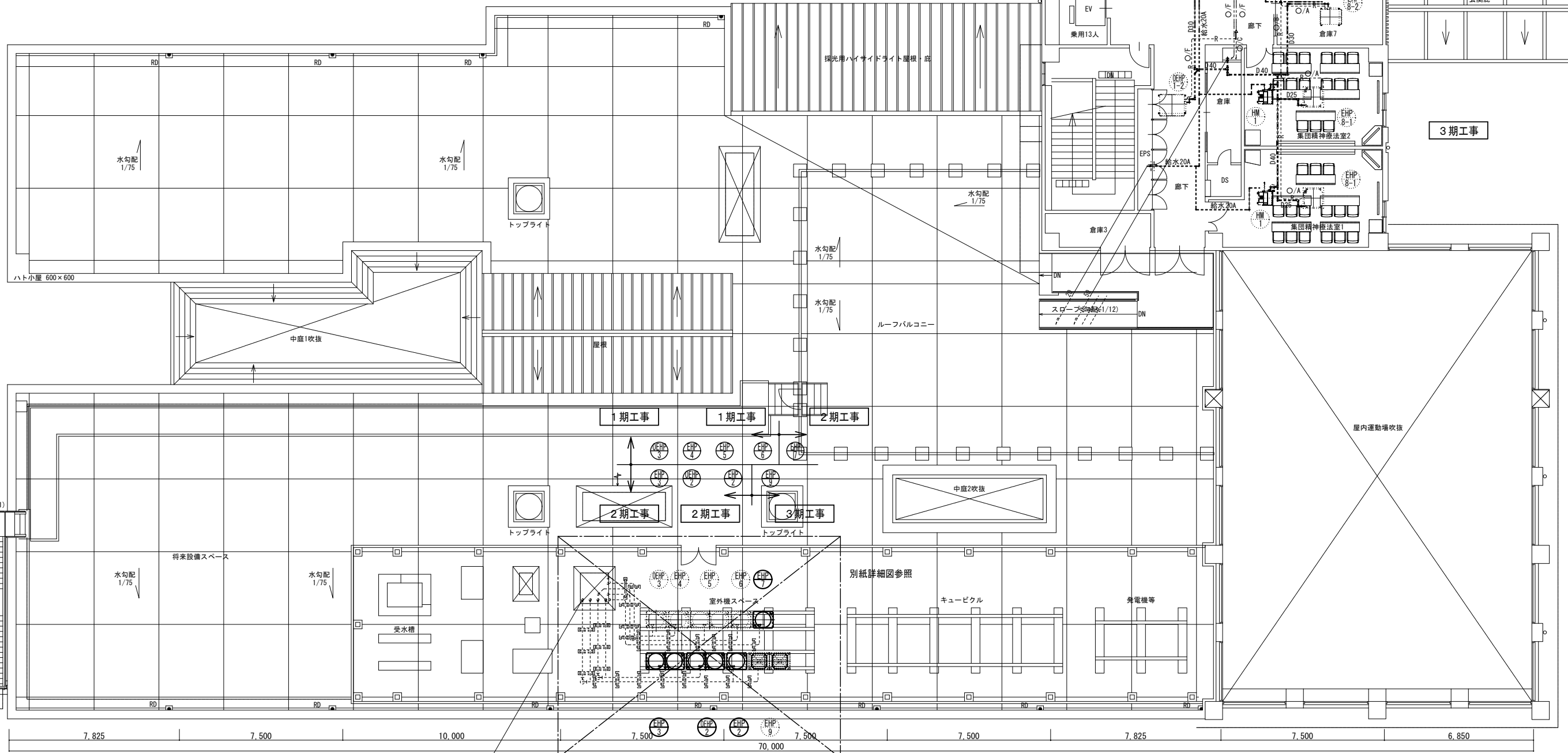
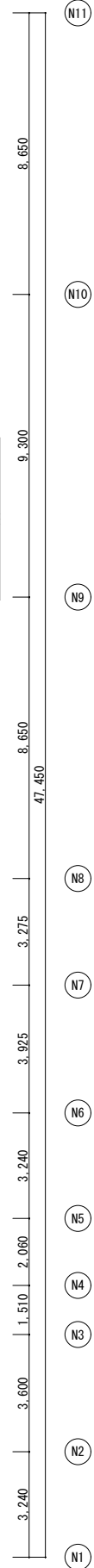
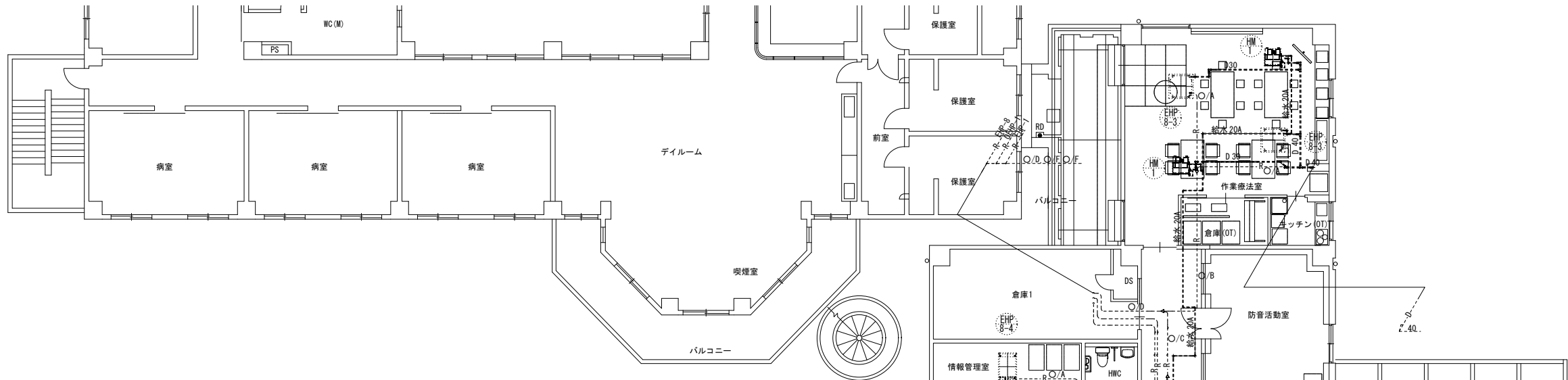
記号	冷媒管サイズ	
	液管	ガス管
○/A	6.35φ	12.7φ
○/B	9.52φ	15.88φ
○/C	9.52φ	19.05φ
○/D	9.52φ	22.2φ
○/E	12.7φ	25.4φ
○/F	12.7φ	28.58φ
○/G	15.88φ	28.58φ



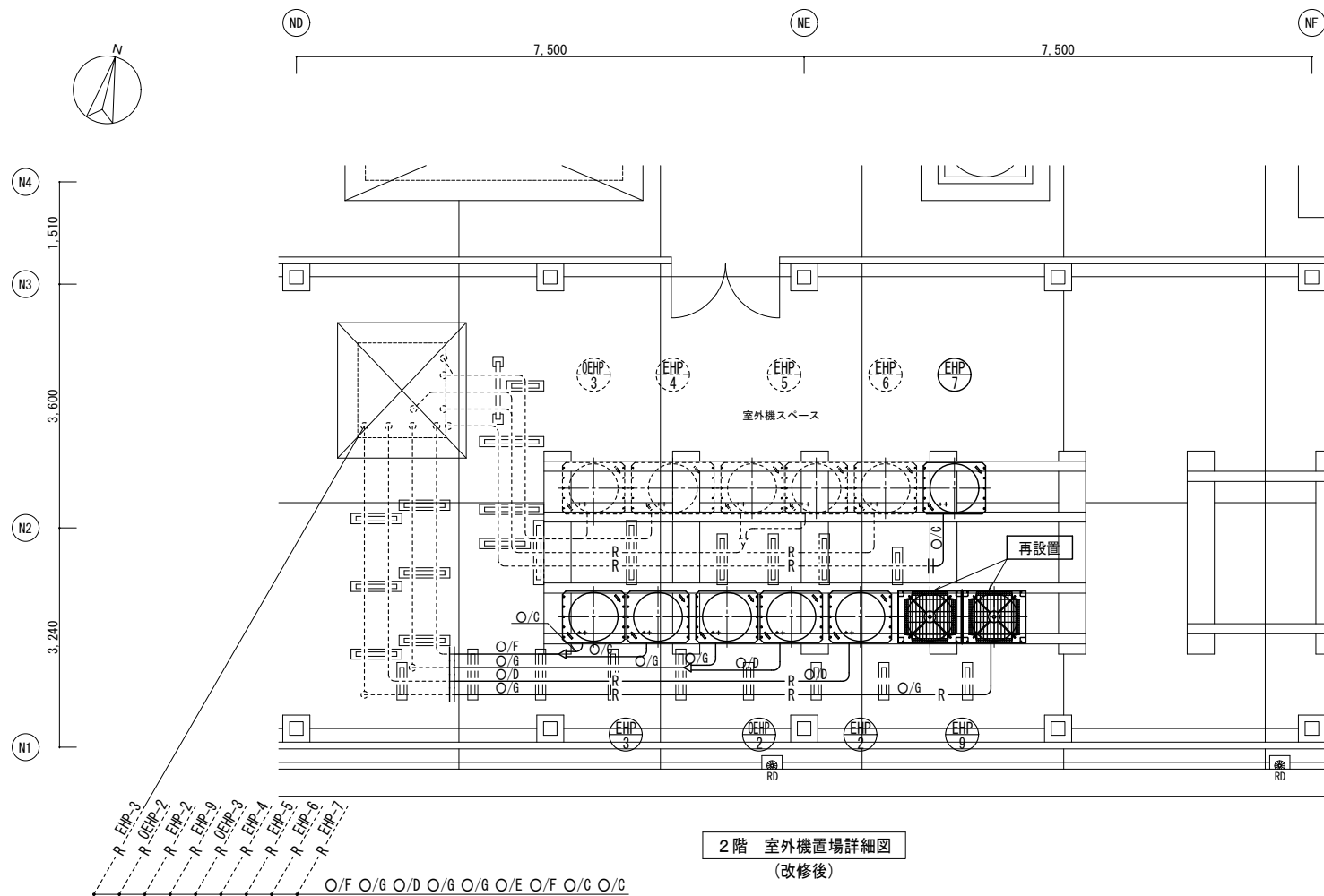
摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限 クラフト 設備 設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	図面番号	M - 13
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤		大谷	図面名	1階 空調機器更新図	縮尺



記号	冷媒管サイズ	
	液管	ガス管
○/A	6.35φ	12.7φ
○/B	9.52φ	15.88φ
○/C	9.52φ	19.05φ
○/D	9.52φ	22.2φ
○/E	12.7φ	25.4φ
○/F	12.7φ	28.58φ
○/G	15.88φ	28.58φ



概要 設計年月日 R05年03月20日	変更年月日 照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	図面番号 M - 14 縮尺 A 1 1 : 100 A 3 1 : 200
---------------------------	-------------------	----------	----------	---	--	--

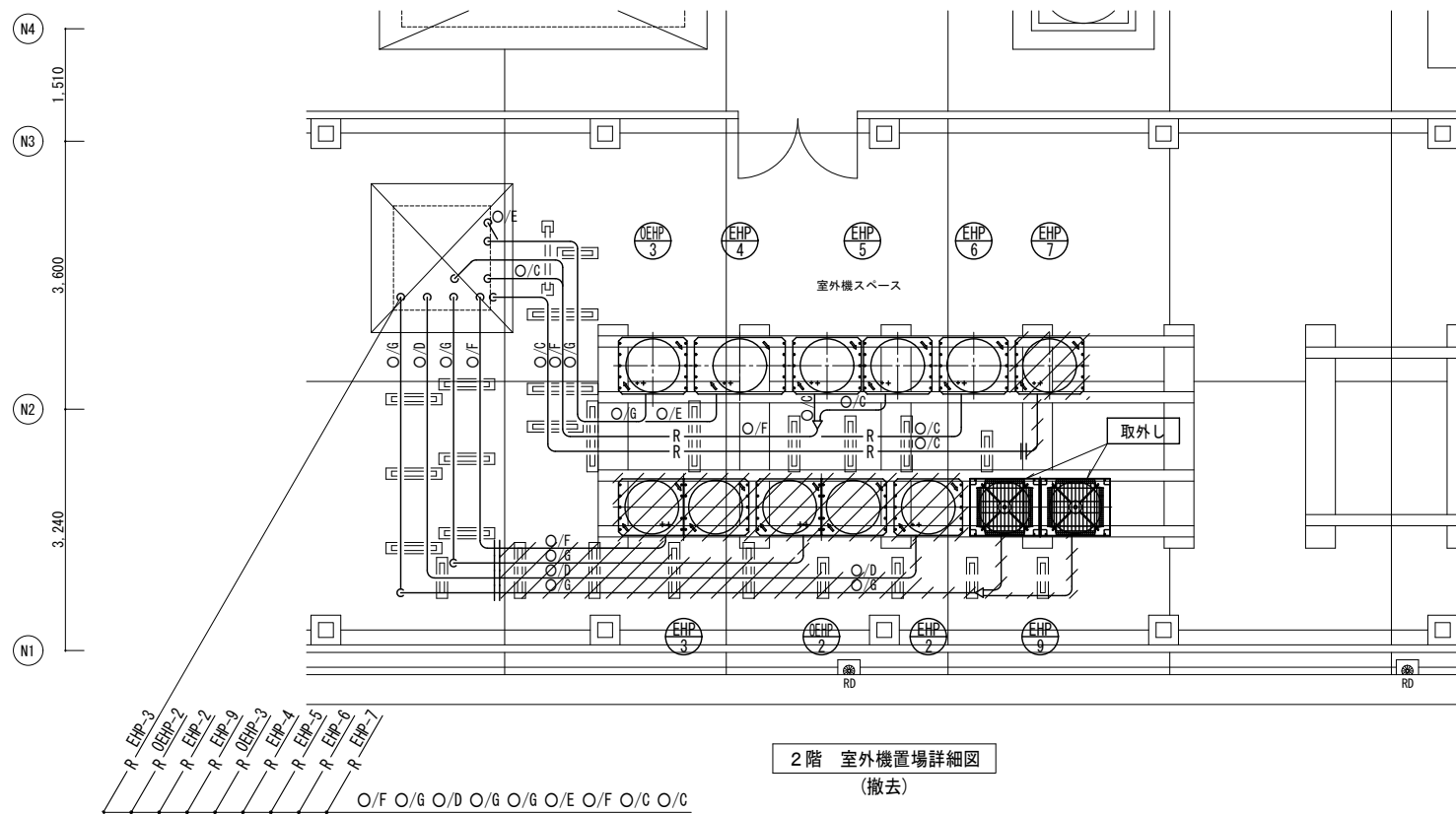


凡例	
—	: 新設配管・機器を示す
---	: 既存配管・機器を示す
— —	: 既存配管に接続を示す

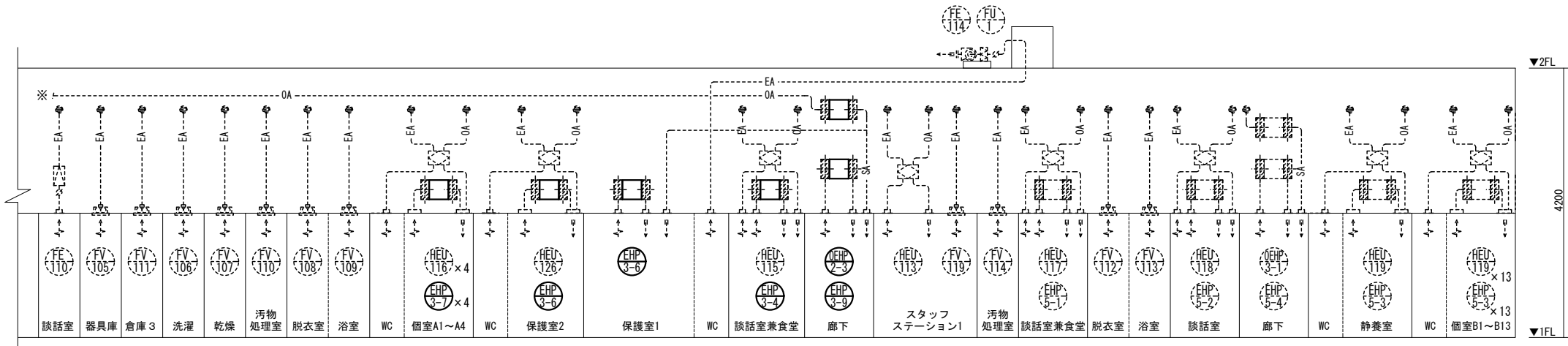
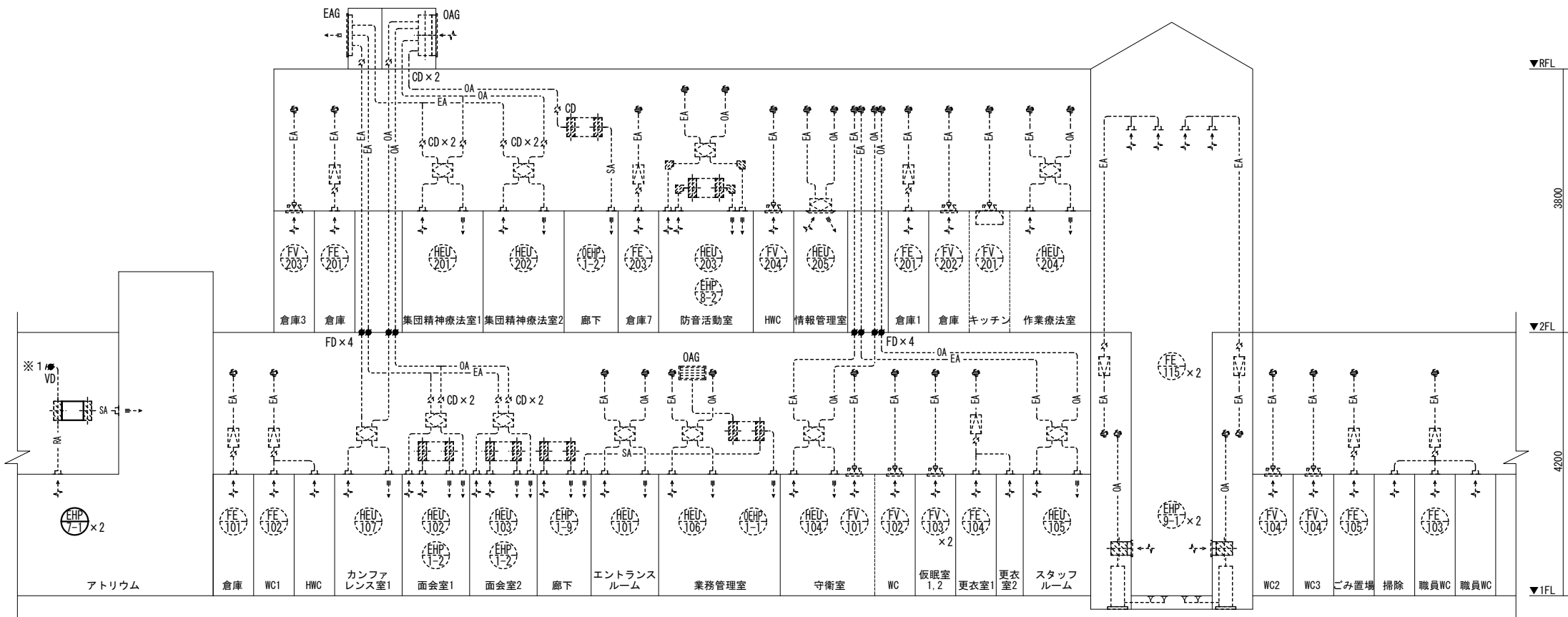
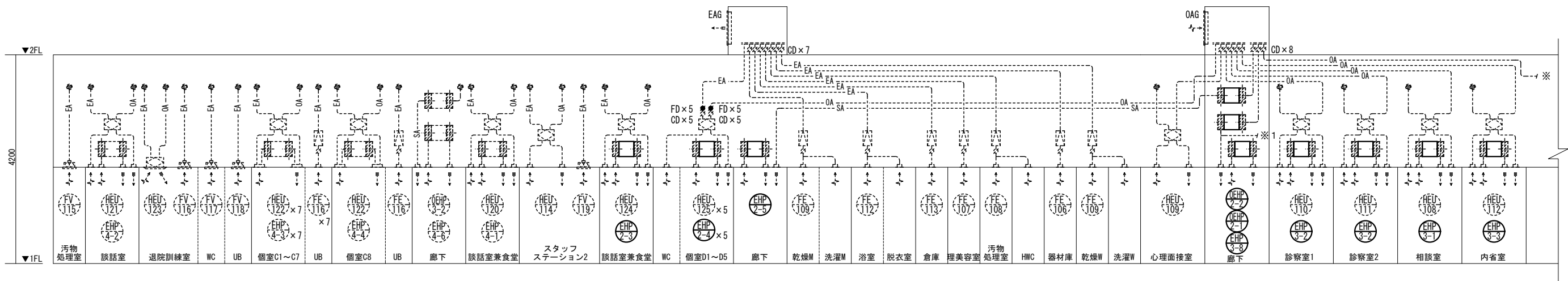
記号	冷媒管径*	
	液管	ガス管
O/A	6.35φ	12.7φ
O/B	9.52φ	15.88φ
O/C	9.52φ	19.05φ
O/D	9.52φ	22.2φ
O/E	12.7φ	25.4φ
O/F	12.7φ	28.58φ
O/G	15.88φ	28.58φ

特記事項

2期工事の室外機が、改修後は大きくなる為、既存EHP-9は、予め取外し移設のこと



凡例	
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
— —	: 既存管切断を示す



ダクト系統図

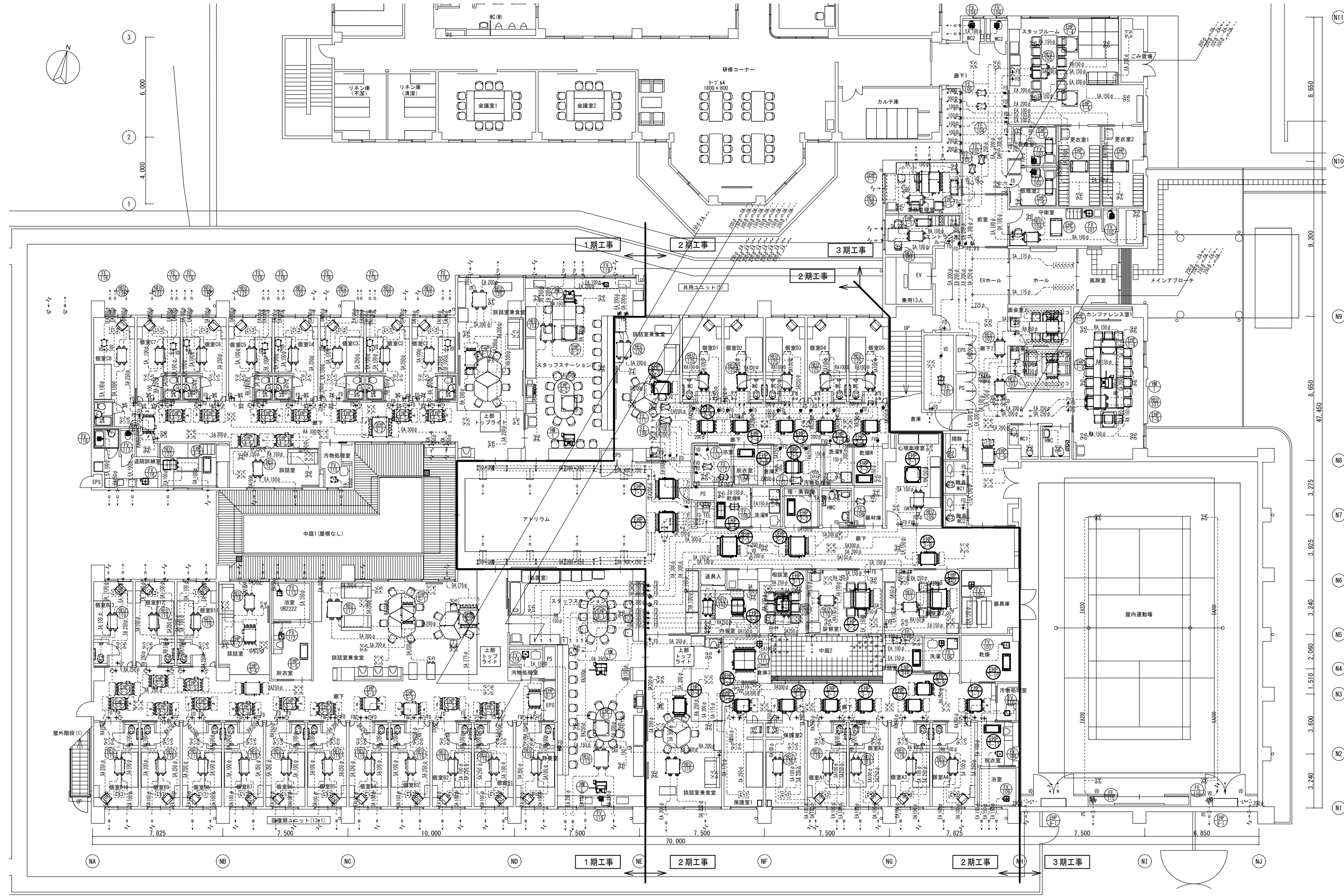
凡例

図記号	名称	備考
-----SA-----	給気ダクト	亜鉛鉄板
-----RA-----	還気ダクト	亜鉛鉄板
-----OA-----	外気ダクト	亜鉛鉄板
-----EA-----	排気ダクト	亜鉛鉄板
◁VD	風量調整ダンパー	
■FD	防火ダンパー	
◁CD	逆流防止ダンパー	

※ 注記：特記なき◁はVD

凡例

—————	：新設配管・機器を示す
-----	：既存配管・機器を示す



摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 素 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟)ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	図面番号	M - 17
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷		図面名	1階 空調機ダクト更新図	縮尺	A 1: 1: 100 A 3: 1: 200

自動制御設備工事概要

1 個別リモコン

更新する屋内機の個別リモコンは更新、リモコンケーブルは再利用
共用部のリモコンレスの屋内機は、集中コントローラーより運転
それらの個別リモコンは、屋内機本体に取付。管理ゾーンは、新たに
廊下に個別リモコンを新設

2 外気処理屋内機(OEHP-n-n)の温度センサー

当該機は、リモコンレスのため、室内温度センサーが必要であるが
既存には見当たらない
従って、新たに図示位置に、温度センサーを新設し、制御ケーブルを
屋内機まで接続させる

3 集中コントローラー

1期工事にて、2台とも更新し、1期工事で更新しない屋内機も収容し
新・旧屋内機の制御が可能になるように設定する

4 集中コントローラー用制御線

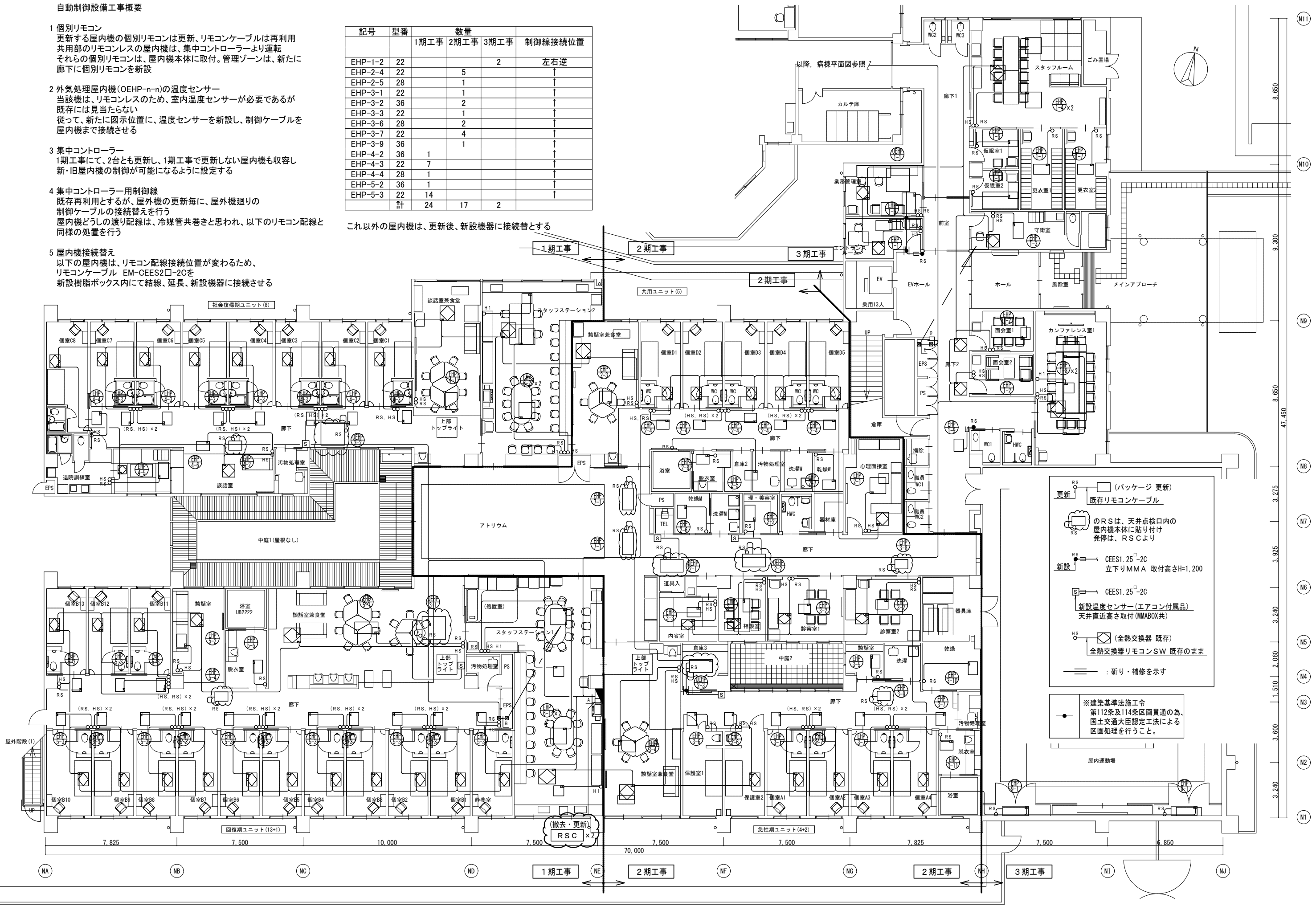
既存再利用とするが、屋外機の更新毎に、屋外機廻りの
制御ケーブルの接続替えを行う
屋内機どうしの渡り配線は、冷媒管共巻きと思われ、以下のリモコン配線と
同様の処置を行う

5 屋内機接続替え

以下の屋内機は、リモコン配線接続位置が変わるため、
リモコンケーブル EM-CEES2□-2Cを
新設樹脂ボックス内に結線、延長、新設機器に接続させる

記号	型番	数量			制御線接続位置
		1期工事	2期工事	3期工事	
EHP-1-2	22			2	左右逆
EHP-2-4	22		5		↑
EHP-2-5	28		1		↑
EHP-3-1	22		1		↑
EHP-3-2	36		2		↑
EHP-3-3	22		1		↑
EHP-3-6	28		2		↑
EHP-3-7	22		4		↑
EHP-3-9	36		1		↑
EHP-4-2	36	1			↑
EHP-4-3	22	7			↑
EHP-4-4	28	1			↑
EHP-5-2	36	1			↑
EHP-5-3	22	14			↑
計		24	17	2	

これ以外の屋内機は、更新後、新設機器に接続替とする



更新 (パッケージ更新)
既存リモコンケーブル
のRSは、天井点検口内の
屋内機本体に貼り付け
発停は、RSCより

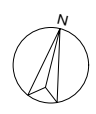
新設
CEES1.25□-2C
立下りMMA 取付高さH=1,200

CEES1.25□-2C
新設温度センサー(エアコン付属品)
天井直近高さ取付(MMABOX共)

(全熱交換器 既存)
全熱交換器リモコンSW 既存のまま

： 研り・補修を示す

※建築基準法施工令
第112条及114条区画貫通の為、
国土交通大臣認定工法による
区画処理を行うこと。



③
6,000
②
4,000
①

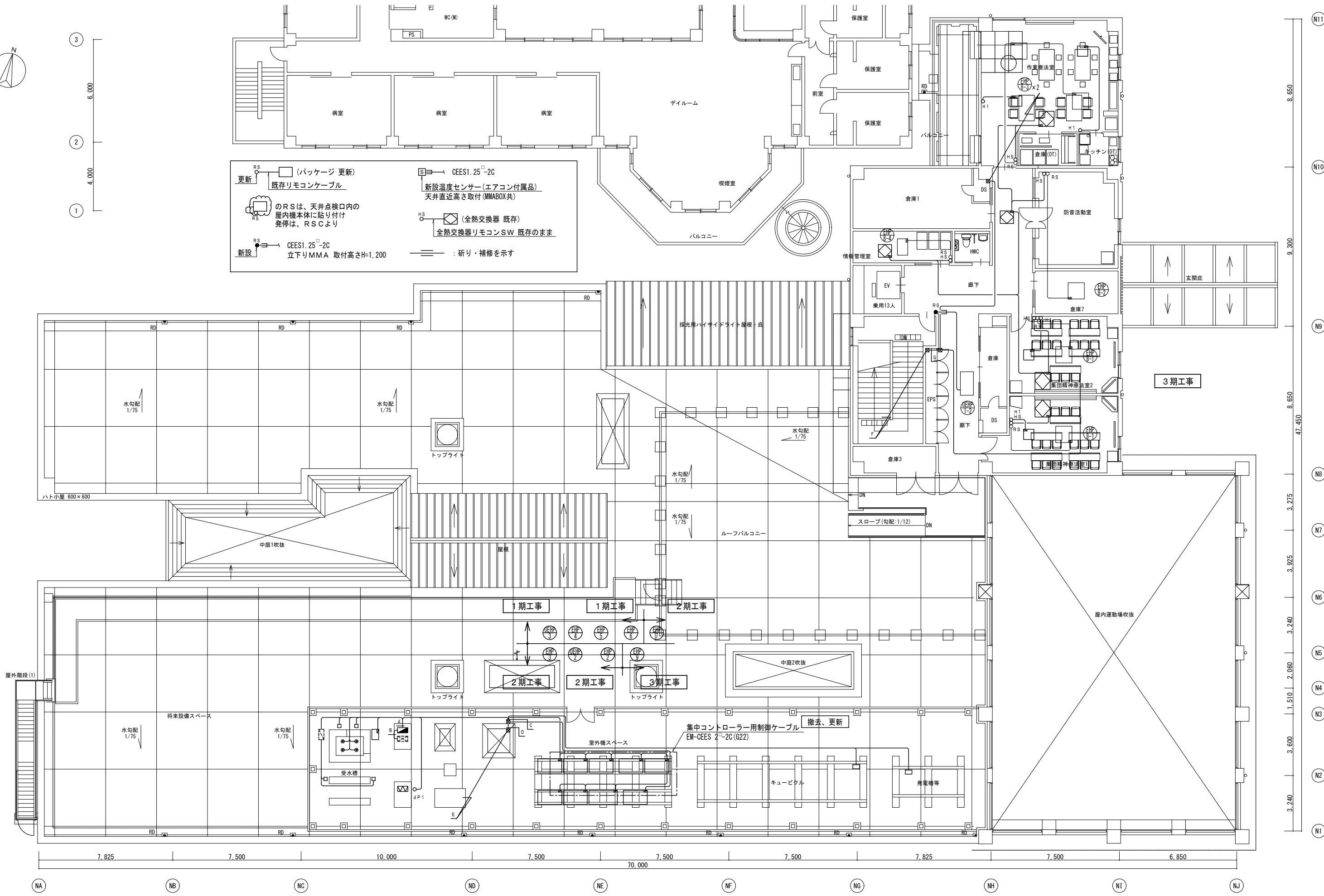
更新 (パッケージ更新)
既存リモコンケーブル
のRSは、天井点検口内の
屋内機本体に貼り付け
発停は、RSCより

新設
CEES1.25[□]-2C
立下りMMA 取付高さH=1,200

CEES1.25[□]-2C
新設温度センサー(エアコン付属品)
天井直近高さ取付(MMABOX共)

全熱交換器 既存
全熱交換器リモコンSW 既存のまま

： 研り・補修を示す



⑩
8,650
⑨
9,300
⑧
8,650
⑦
47,450
⑥
3,275
⑤
3,925
④
3,240
③
2,060
②
1,510
①
3,600
⑩
3,240
⑨
3,240
⑧
3,240
⑦
3,240
⑥
3,240
⑤
3,240
④
3,240
③
3,240
②
3,240
①
3,240

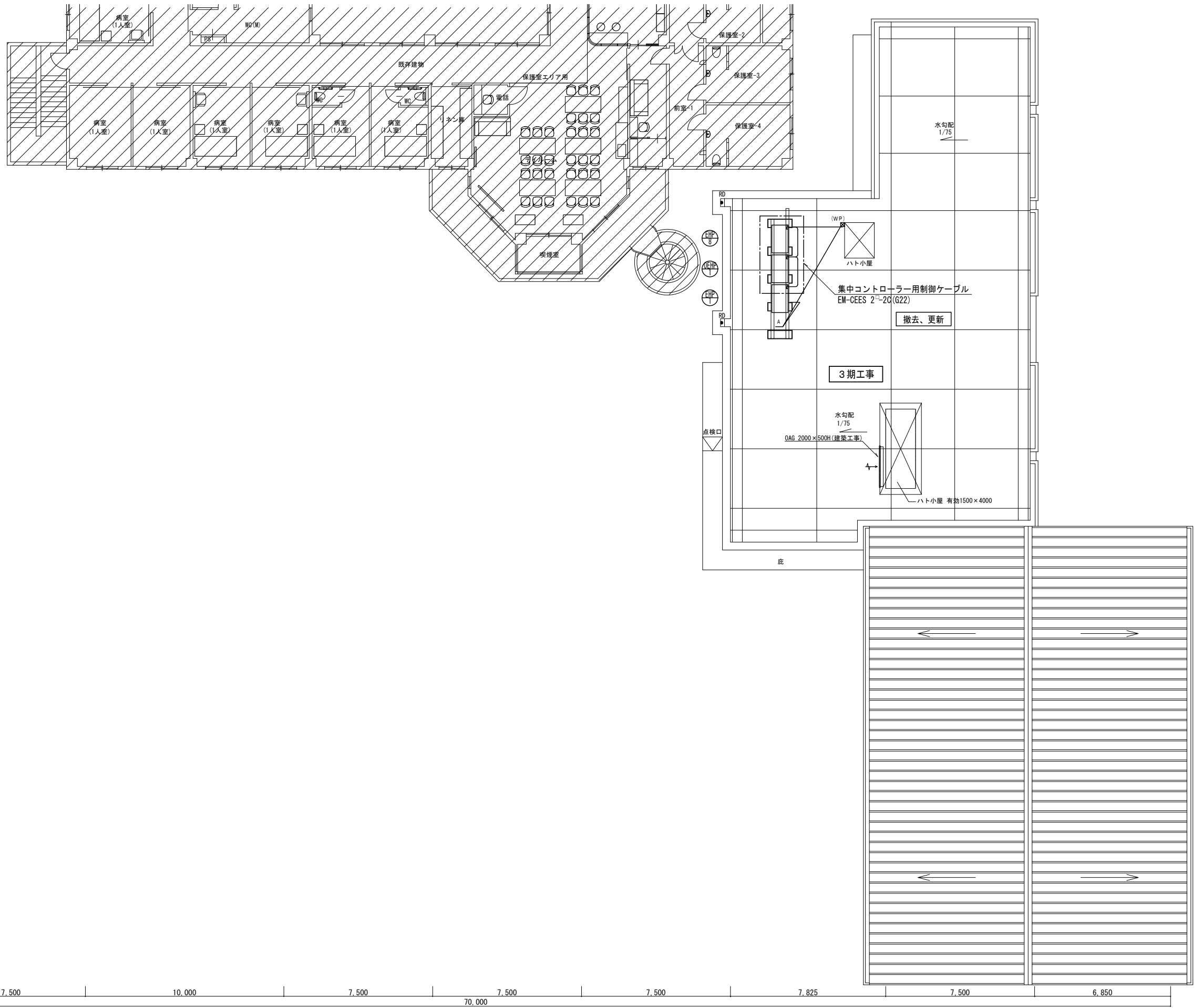
7.825 7.500 10.000 7.500 7.500 7.500 7.825 7.500 6.850

NA NB NC ND NE NF NG NH NI NJ

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社	クラフト設備設計	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	図面番号 M - 19
						建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	図面名 2階 自動制御設備更新図(現況)	縮尺 A 1 : 100 A 3 1 : 200	



③
6.000
②
4.000
①



⑪
8.650
⑩
9.300
⑨
8.650
⑧
47.450
⑦
3.275
⑥
3.925
⑤
3.240
④
2.060
③
1.510
②
3.600
①
3.240

7.825 7.500 10.000 7.500 7.500 7.500 7.825 7.500 6.850

NA NB NC ND NE NF NG NH NI NJ

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限 株式会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	設計図	図面番号
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷		R階 自動制御設備更新図(現況)	縮尺 A 1 1:100 A 3 1:200	M - 20	

機器凡例

シンボル	記号	配線	配管	
			屋内	屋外
○	HS	EM-CEES2口 - 2C x 1 (PF22)		
○	RS	EM-CEES2口 - 2C x 1 (PF22)		
○	集中コントローラ	EM-CEES2口 - 2C x 1 (PF22)		
○	H1	EM-CEE2口 - 2C x 1 (PF22)		
□	SVW1	EM-CEE2口 - 3C x 1 (E25)		
□	遮断弁	EM-CEE2口 - 5C x 1 (E25)		
○	dP1	EM-CEE2口 - 2C x 1 (E25)		
⊙	3P	EM-CEE2口 - 3C x 1 (E25)		
⊙	5P	EM-CEE2口 - 5C x 1 (E25)		

記号凡例

平面図記号	内容
—	露出配管
—	天井内ケーブル配線
⊠ (WP)	ブルボックス (WPは防水仕様)

<特記>
・ 天井内はケーブルコログシとし、室内サーモ・スイッチ類及び壁への立下りは配管を使用する。

1階

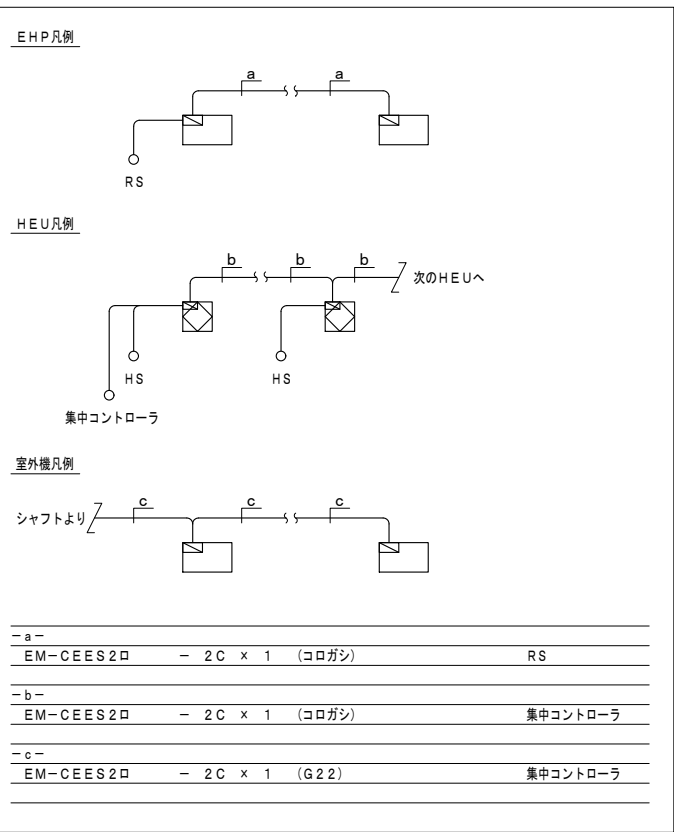
-A-	EM-CEES2口 - 2C x 2 (E31)	集中コントローラx2
-B-	EM-CEES2口 - 2C x 1 (コログシ)	集中コントローラ
EM-CEES2口 - 2C x 1 (コログシ)	集中コントローラ	
-C-	EM-CEE2口 - 2C x 3 (E39)	dP1x2 空転防止
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	SVW1x2	
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	3P x 2	
EM-CEE2口 - 5C x 2 (E39)	5P x 2	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 2 (E39)	遮断弁制御盤 加圧給水ポンプユニット	
-D-	EM-CEE2口 - 2C x 3 (コログシ)	dP1x2 空転防止
EM-CEE2口 - 3C x 2 (コログシ)	SVW1x2	
EM-CEE2口 - 3C x 2 (コログシ)	3P x 2	
EM-CEE2口 - 5C x 2 (コログシ)	5P x 2	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (コログシ)	集中コントローラ	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (コログシ)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 2 (コログシ)	遮断弁制御盤 加圧給水ポンプユニット	

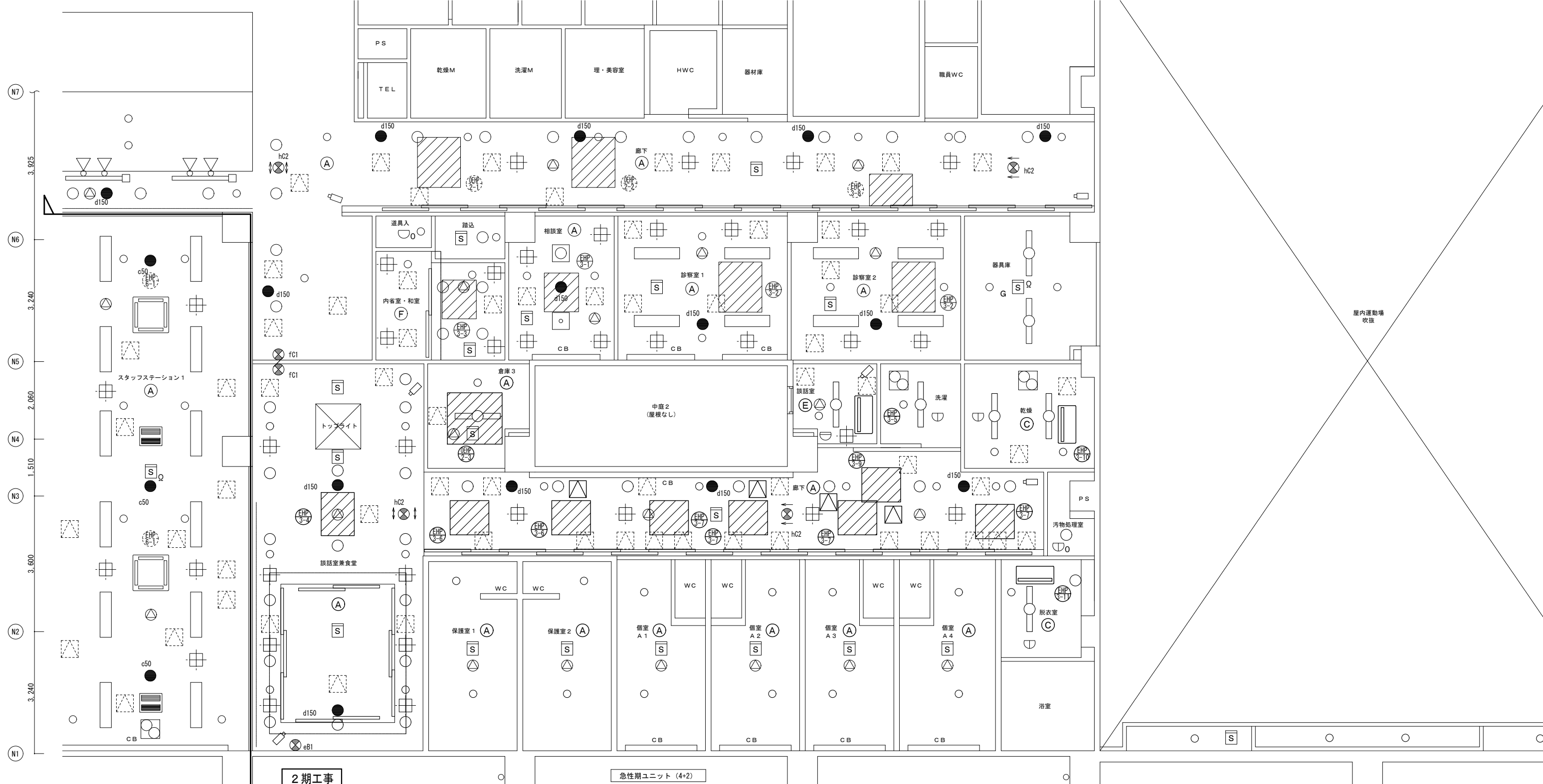
2階

-A-	EM-CEES2口 - 2C x 2 (E31)	集中コントローラx2
-B-	EM-CEE2口 - 2C x 3 (E39)	dP1x2 空転防止
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	SVW1x2	
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	3P x 2	
EM-CEE2口 - 5C x 2 (E39)	5P x 2	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 2 (E39)	加圧給水ポンプユニット 遮断弁制御盤	
-C-	EM-CEE2口 - 2C x 3 (E39)	dP1x2 空転防止
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	SVW1x2	
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	3P x 2	
EM-CEE2口 - 5C x 2 (E39)	5P x 2	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 2 (E39)	加圧給水ポンプユニット 遮断弁制御盤	
-D-	EM-CEE2口 - 2C x 1 (G22)	空転防止
EM-CEE2口 - 2C x 1 (G22)	dP1	
EM-CEE2口 - 2C x 1 (G22)	dP1	
EM-CEE2口 - 3C x 1 (G22)	SVW1	
EM-CEE2口 - 3C x 1 (G22)	3P	
EM-CEE2口 - 3C x 1 (G22)	3P	
EM-CEE2口 - 3C x 1 (G22)	SVW1	
EM-CEE2口 - 5C x 1 (G28)	5P	
EM-CEE2口 - 5C x 1 (G28)	5P	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (G22)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 1 (G22)	加圧給水ポンプユニット	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 1 (G22)	遮断弁制御盤	
-E-	EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ

R階

-A-	EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ
-----	--------------------------	----------





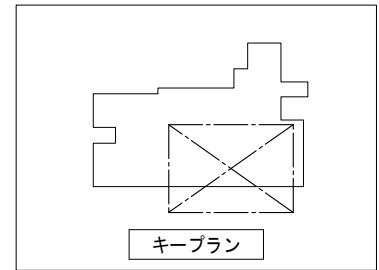
2期工事

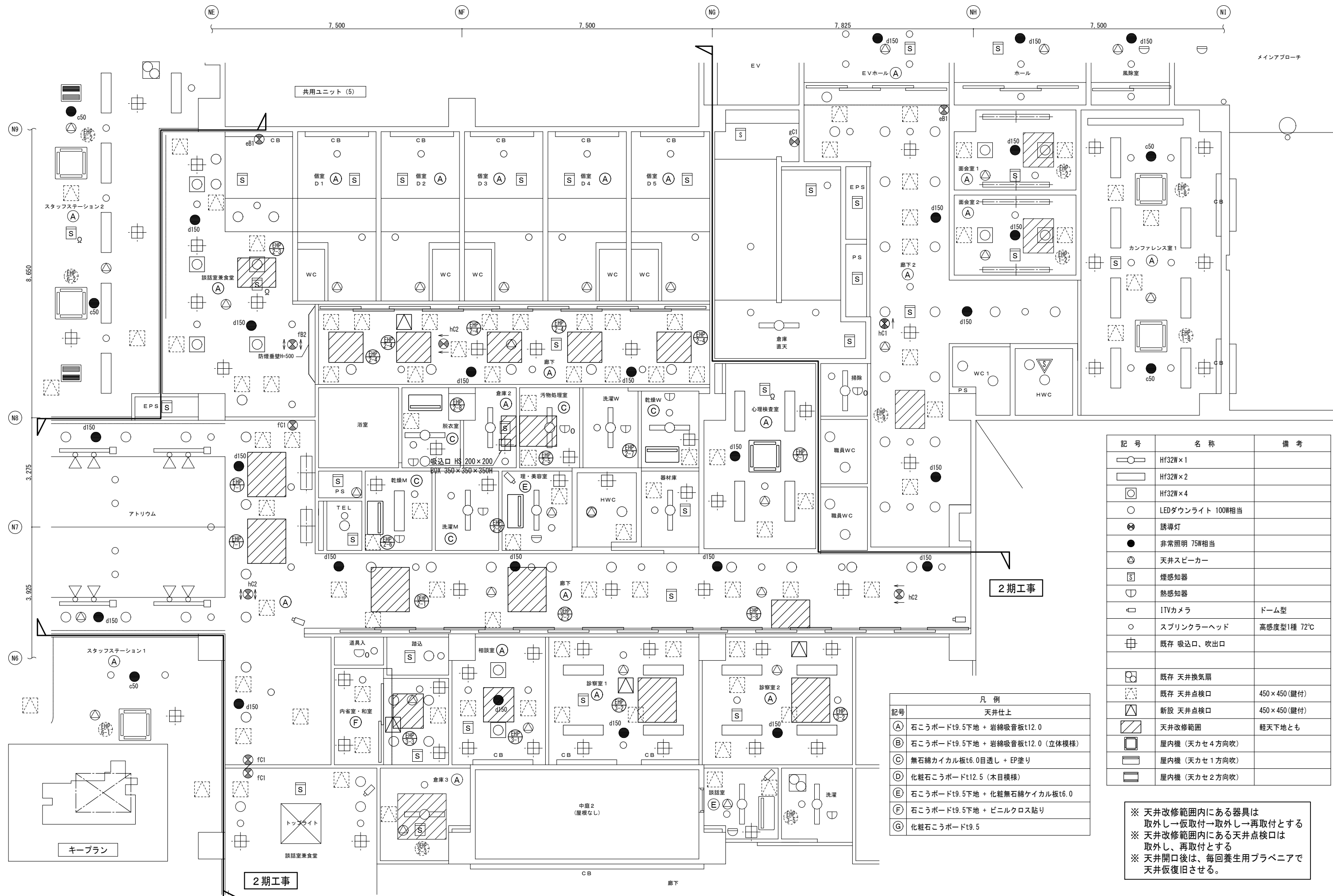
急性期ユニット (4+2)

凡例	
記号	天井仕上
(A)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0
(B)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0 (立体模様)
(C)	無石棉カイカル板t6.0目透し + EP塗り
(D)	化粧石こうボードt12.5 (木目模様)
(E)	石こうボードt9.5下地 + 化粧無石棉ケイカル板t6.0
(F)	石こうボードt9.5下地 + ビニルクロス貼り
(G)	化粧石こうボードt9.5

記号	名称	備考	記号	名称	備考
○	HF32W×1		◻	ITVカメラ	ドーム型
◻	HF32W×2		○	スプリンクラーヘッド	高感度型1種 72°C
◻	HF32W×4		⊕	既存 吸込口、吹出口	
○	LEDダウンライト 100W相当		◻	既存 天井換気扇	
⊗	誘導灯		◻	既存 天井点検口	450×450(鍵付)
●	非常照明 75W相当		◻	新設 天井点検口	450×450(鍵付)
△	天井スピーカー		◻	天井改修範囲	軽天下地とも
⊠	煙感知器				
Ω	終端器				

※ 天井改修範囲内にある器具は
 取外し→仮取付→取外し→再取付とする
 ※ 天井改修範囲内にある天井点検口は
 取外し、再取付とする
 ※ 天井開口後は、毎回養生用ブラベニアで
 天井仮復旧させる。





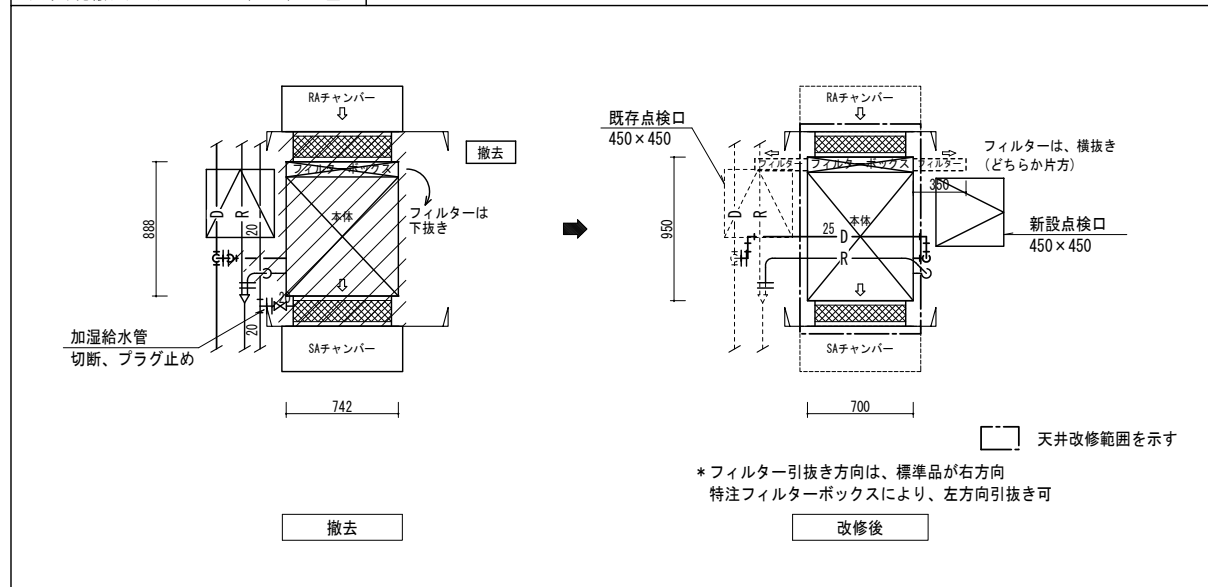
記号	名称	備考
	HF32W x 1	
	HF32W x 2	
	HF32W x 4	
	LEDダウンライト 100W相当	
	誘導灯	
	非常照明 75W相当	
	天井スピーカー	
	煙感知器	
	熱感知器	
	ITVカメラ	ドーム型
	スプリンクラーヘッド	高感度型1種 72℃
	既存 吸込口、吹出口	
	既存 天井換気扇	
	既存 天井点検口	450×450(鍵付)
	新設 天井点検口	450×450(鍵付)
	天井改修範囲	軽天下地とも
	屋内機 (天カセ4方向吹)	
	屋内機 (天カセ1方向吹)	
	屋内機 (天カセ2方向吹)	

凡例	
記号	天井仕上
(A)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0
(B)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0 (立体模様)
(C)	無石棉カイカル板t6.0目透し + EP塗り
(D)	化粧石こうボードt12.5 (木目模様)
(E)	石こうボードt9.5下地 + 化粧無石棉ケイカル板t6.0
(F)	石こうボードt9.5下地 + ビニルクロス貼り
(G)	化粧石こうボードt9.5

※ 天井改修範囲内にある器具は
取外し→仮取付→取外し→再取付とする
※ 天井改修範囲内にある天井点検口は
取外し、再取付とする
※ 天井開口後は、毎回養生用プラベニアで
天井仮復旧させる。

天吊り隠蔽ダクトタイプ屋内機 一覧

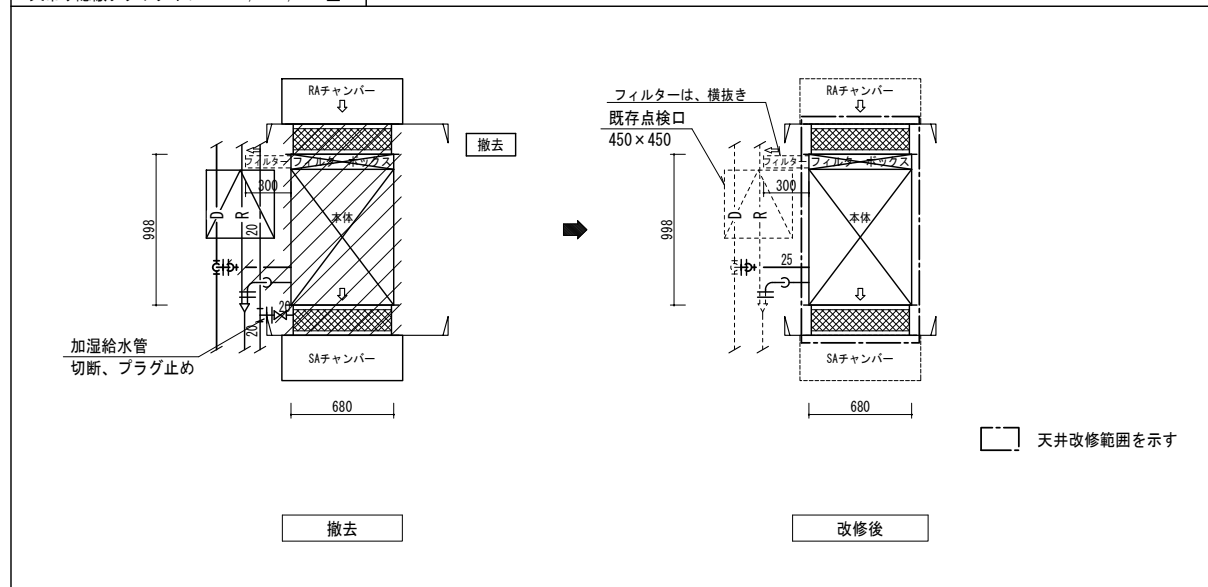
天吊り隠蔽ダクトタイプ 22, 28, 36型



記号	型番	数量			改修前			改修後			冷媒管			
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
EHP-1-2	22			2	742x888x293H	有	640x174	652x251	700x950x250H	無	660x178	658x208	12.7x6.4	左右逆
EHP-2-4	22		5		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-2-5	28		1		↑	無	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-1	22		1		↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-2	36		2		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-3	22		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-6	28		2		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-7	22		4		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-9	36		1		↑	無	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-4-2	36	1			↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-4-3	22	7			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-4-4	28	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-5-2	36	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-5-3	22	14			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
計		24	17	2										

* 冷媒管共巻きとなっている制御配線は、機器接続位置が変わるため、通信ケーブルCVVS1.25[□]-2Cを新設樹脂ボックス内にて結線、延長、新設機器に接続させる。
天井開口寸法 1,000×1,500、床養生寸法 2,000×2,500 (いずれも概算寸法)

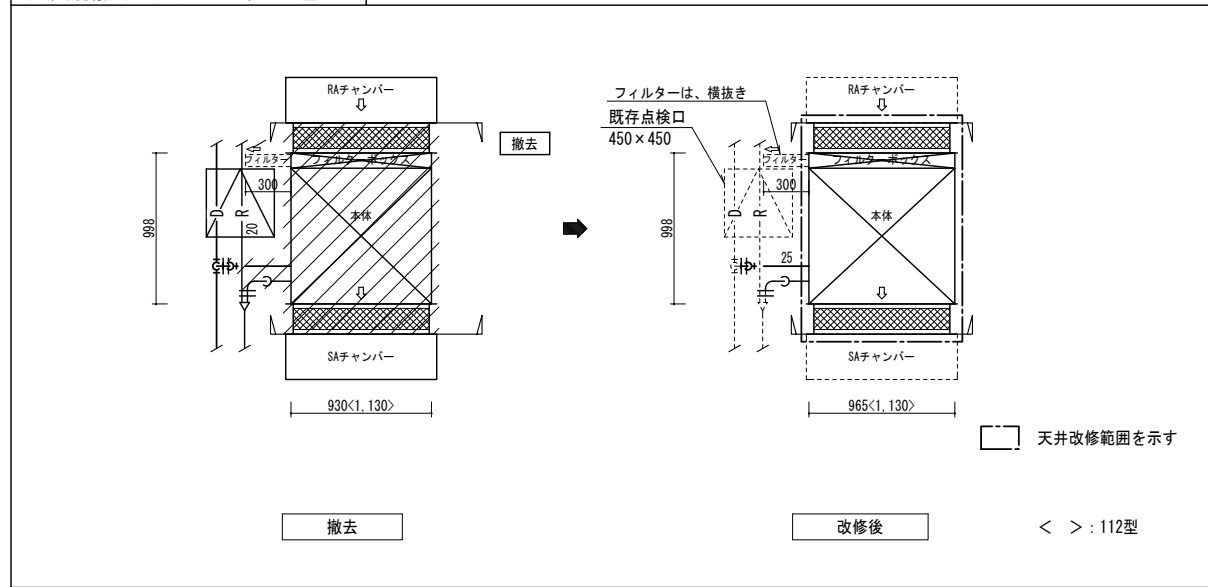
天吊り隠蔽ダクトタイプ 45, 56, 71型



記号	型番	数量			改修前			改修後			冷媒管			
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
EHP-1-9	45			1	680x998x380H	無	550x250	600x340	680x998x380H	無	550x250	600x340	12.7x6.4	同側
EHP-2-3	56		1		↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-4	71		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	15.9x9.5	↑
EHP-3-8	45		1		↑	無	↑	↑	↑	↑	↑	↑	12.7x6.4	↑
EHP-4-1	56	1			↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-4-6	45	1			↑	無	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-5-4	45	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-8-2	56			1	↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
計		3	3	2										

* 天井開口寸法 1,000×1,700、床養生寸法 2,000×2,500 (いずれも概算寸法)

天吊り隠蔽ダクトタイプ 90, 112型



記号	型番	数量			改修前			改修後			冷媒管			
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
EHP-5-1	90	1			930x998x380H	無	800x250	850x340	965x998x380H	無	835x250	885x340	15.9x9.5	同側
EHP-7-1	12		2		1130x998x380H	↑	1000x250	1050x340	1130x998x380H	↑	1000x250	1050x340	↑	↑
計		1	2											

* 天井開口寸法 1,200×1,700、床養生寸法 2,000×2,500 (いずれも概算寸法)

注記事項

機器仕様は、既存メーカーの三菱電機製を参考にしてのいる。着手前に、新旧の納入仕様書にて最終確認をすること。
本体寸法には、フィルターボックスを含んでいる。
配管接続口が左右逆になる機種があり、事前に現場調査を十分行い、障害になるものがある場合はそれらの切りまわし工事を、事前に済ませること。
火災事故を防ぐため、冷媒管の接続には溶接は使用せず、メカニカル継手(JCDA0012)を使用する。
天井開口後は、毎回養生用プラベニアで天井復旧させる。
床養生は、毎回作業終了後、撤去とし、床清掃を行う。

撤去凡例

	: 撤去配管・機器を示す
	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

改修後凡例

	: 新設配管・機器を示す
	: 既存配管・機器を示す
	: 既存配管に接続を示す

天吊り隠蔽ダクトタイプ屋内機 一覧

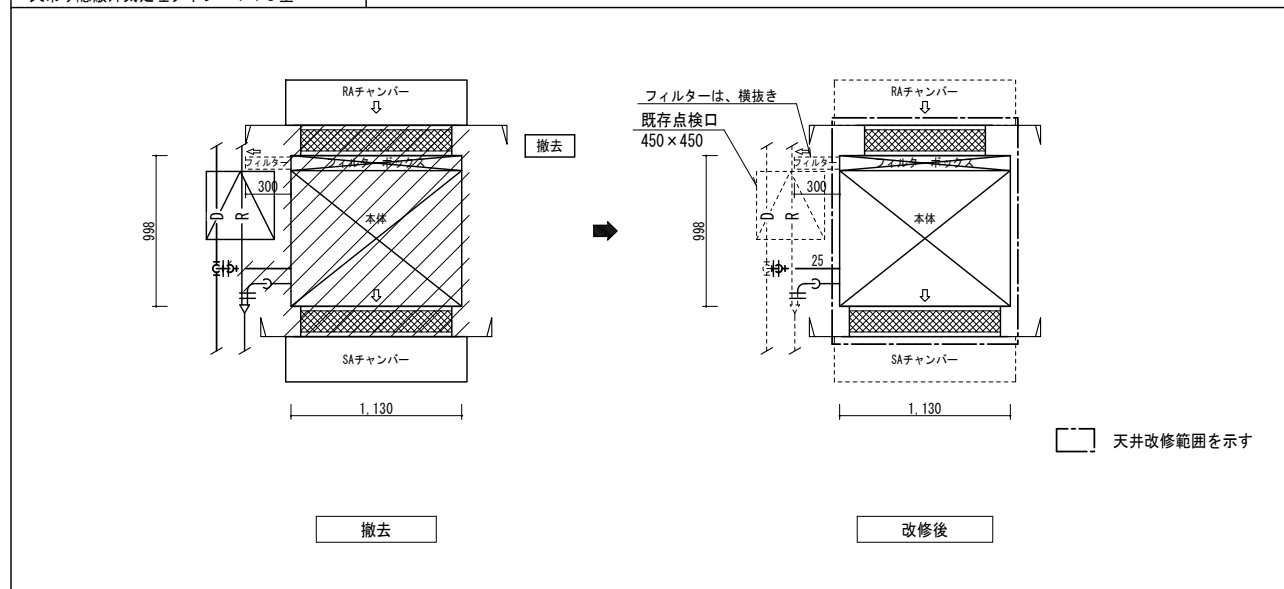
記号	型番	数量			改修前			改修後			冷媒管			
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
OEHP-1-2	140			1	1130x998x380H	無	1000x250	1050x340	1130x998x380H	無	1000x250	1050x340	15.9x9.5	同側
OEHP-2-1	140		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
OEHP-2-2	140		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
OEHP-3-1	140	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
OEHP-3-2	140	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
計		2	2	1										

*天井開口寸法 1,300×1,700、床養生寸法 2,500×2,500 (いずれも概算寸法)

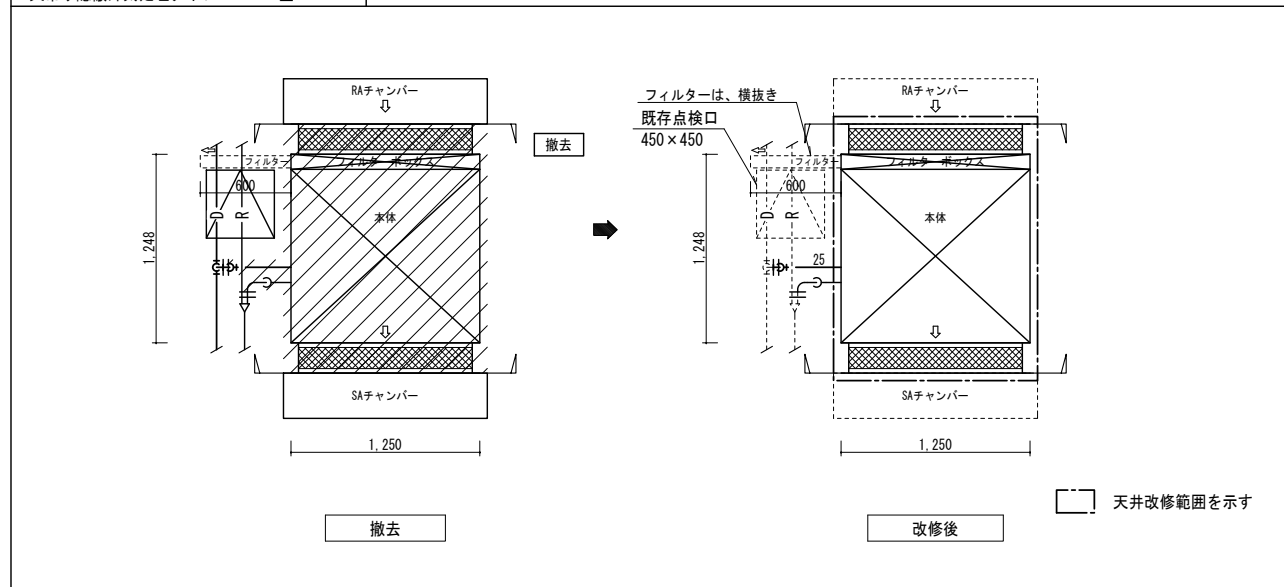
記号	型番	数量			改修前			改修後			冷媒管			
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
OEHP-1-1	224			1	1250x1248x470H	無	1100x340	1100x420	1250x1248x470H	無	1100x340	1100x420	19.1x9.5	同側
OEHP-2-3	224		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
計			1	1										

*天井開口寸法 1,500×2,000、床養生寸法 2,500×3,000 (いずれも概算寸法)

天吊り隠蔽外気処理タイプ 140型



天吊り隠蔽外気処理タイプ 224型



注記事項

機器仕様は、既存メーカーの三菱電機製を参考にしている。着手前に、新旧の納入仕様書にて最終確認をすること。
 本体寸法には、フィルターボックスを含んでいる。
 配管接続口が左右逆になる機種があり、事前に現場調査を十分行い、障害になるものが有ればそれらの切りまわし工事を、事前に済ませること。
 火災事故を防ぐため、冷媒管の接続には溶接は使用せず、メカニカル継手(JCDA0012)を使用する。
 天井開口後は、毎回養生用ブラベニアで天井仮復旧させる。
 床養生は、毎回作業終了後、撤去とし、床清掃を行う。

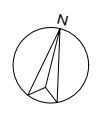
撤去凡例

////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
— —	: 既存管切断を示す

改修後凡例

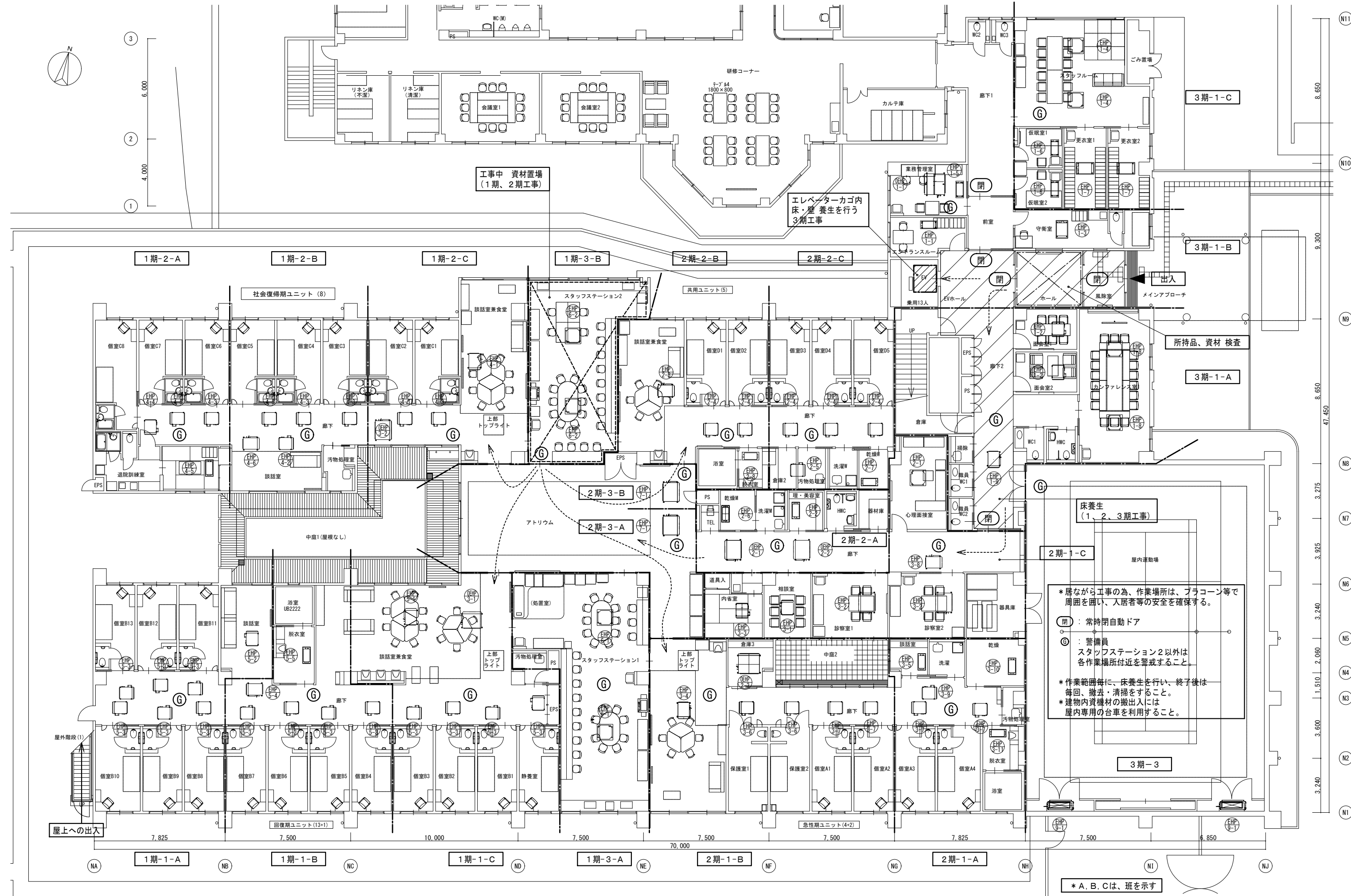
—	: 新設配管・機器を示す
-----	: 既存配管・機器を示す
----- -----	: 既存配管に接続を示す

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事)	設計図 天井下隠ぺい空調機 改修パターン図(2)	図面番号 縮尺 A 1:25 A 3:1:50	M - 25
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	---	--	-----------------------------	-------------------------------	--------



3
6,000
2
4,000
1

8,650
9,300
8,650
47,450
3,275
3,925
3,240
3,240
3,600
3,240
N11
N10
N9
N8
N7
N6
N5
N4
N3
N2
N1



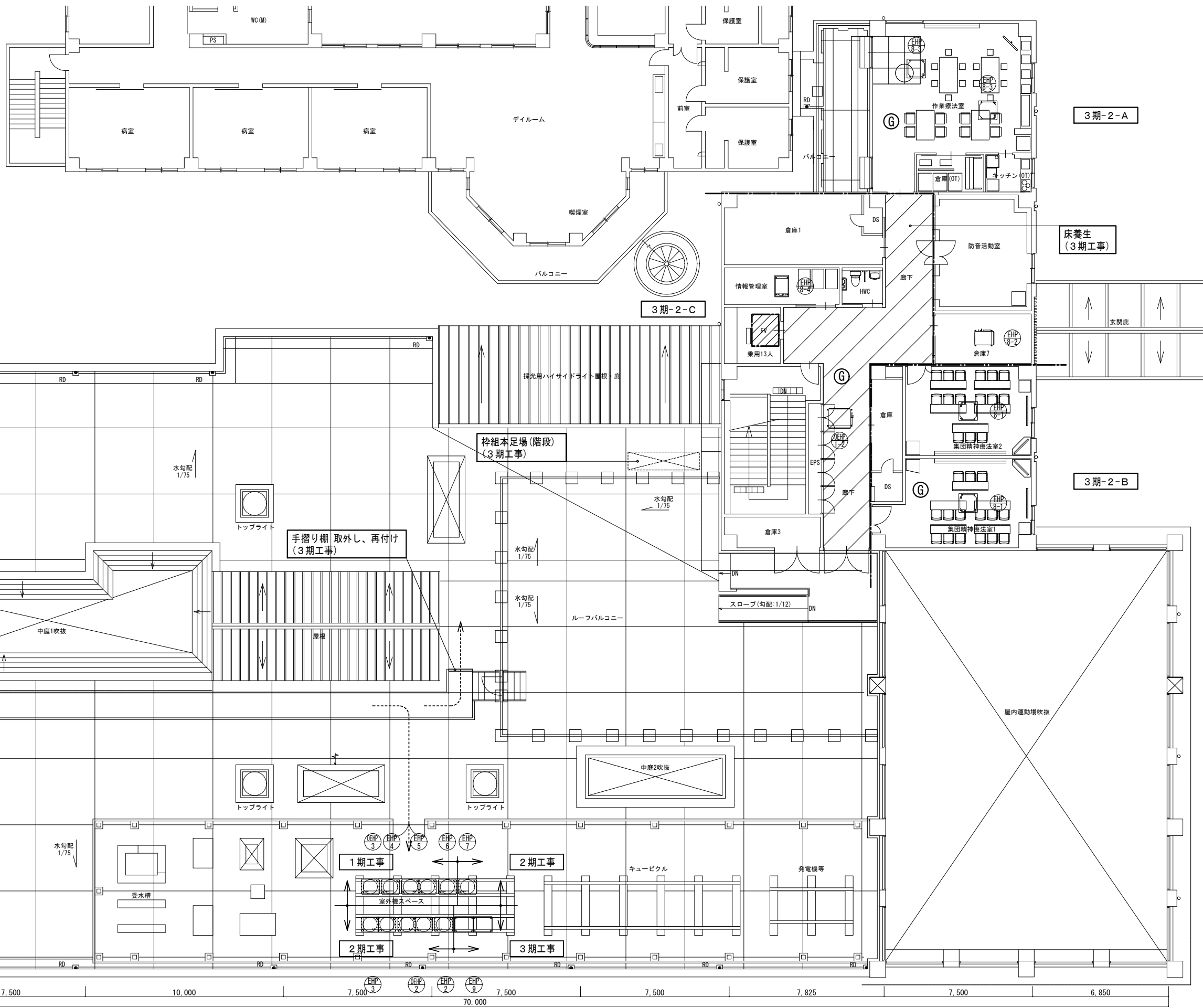
※ 居ながら工事の為、作業場所は、プラコン等で周囲を囲い、入居者等の安全を確保する。
 閉：常時閉自動ドア
 警備員
 スタッステーション2以外は各作業場所付近を警戒すること
 ※ 作業範囲毎に、床養生を行い、終了後は毎回、撤去・清掃をすること。
 ※ 建物内資機材の搬入には、屋内専用の台車を利用すること。

* A, B, Cは、班を示す

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社	クラフト設備設計	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機設備工事(2期工事)	図面番号 M - 26
			栗木	栗木	佐藤 大谷	有限 会社	クラフト設備設計	図面名称 1階 仮設計計画	縮尺 A 1:100 A 3:1:200



③
6,000
②
4,000
①



⑩
8,650
⑨
9,300
⑧
8,650
47,450
⑦
3,275
⑥
3,925
⑤
3,240
④
2,060
③
1,510
②
3,600
①
3,240
N11
N10
N9
N8
N7
N6
N5
N4
N3
N2
N1

7.825 7.500 10.000 7.500 70.000 7.500 7.500 7.825 7.500 6.850

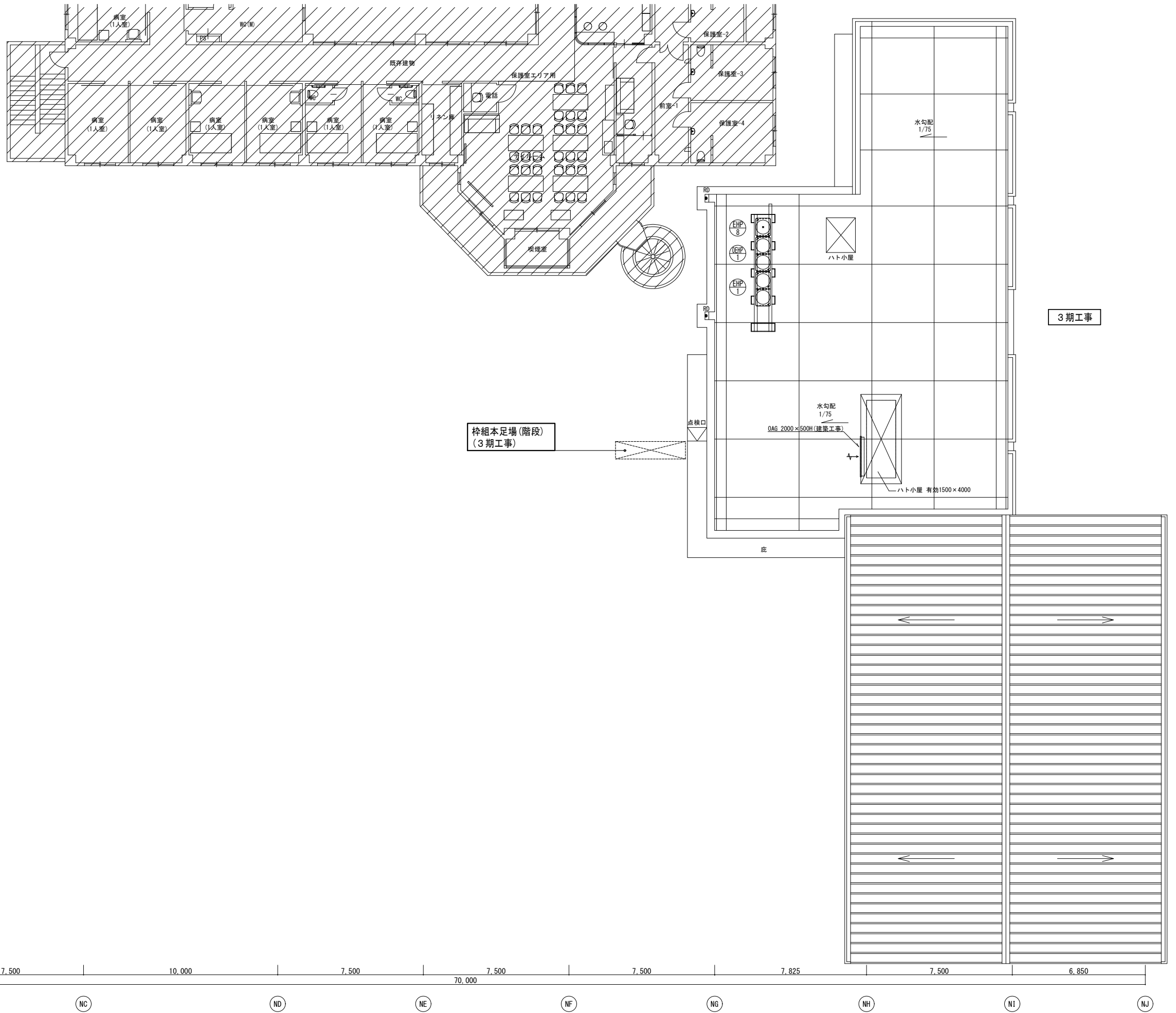
NA NB NC ND NE NF NG NH NI NJ

* A, B, Cは、班を示す

概要 設計年月日 R05年03月20日	変更年月日 照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(2期工事) 図面名 2階 仮設計計画図	図面番号 M - 27 縮尺 A 1:100 A 3:1:200
---------------------------	-------------------	----------	----------------	--	--	--



③
6.000
②
4.000
①



⑪
8.650
⑩
9.300
⑨
8.650
47.450
⑧
3.275
⑦
3.925
⑥
3.240
⑤
2.060
④
1.510
③
3.600
②
3.240
①

7.825 7.500 10.000 7.500 7.500 7.500 7.825 7.500 6.850

NA NB NC ND NE NF NG NH NI NJ

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限 会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事 (2期工事)	設計図	図面番号
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷		図面名	R階 仮設計画図	縮尺	A 1 1 : 100 A 3 1 : 200